

No. 17

日本語教科書開発基礎調査

JICA LIBRARY



J1158098(2)

平成12年3月

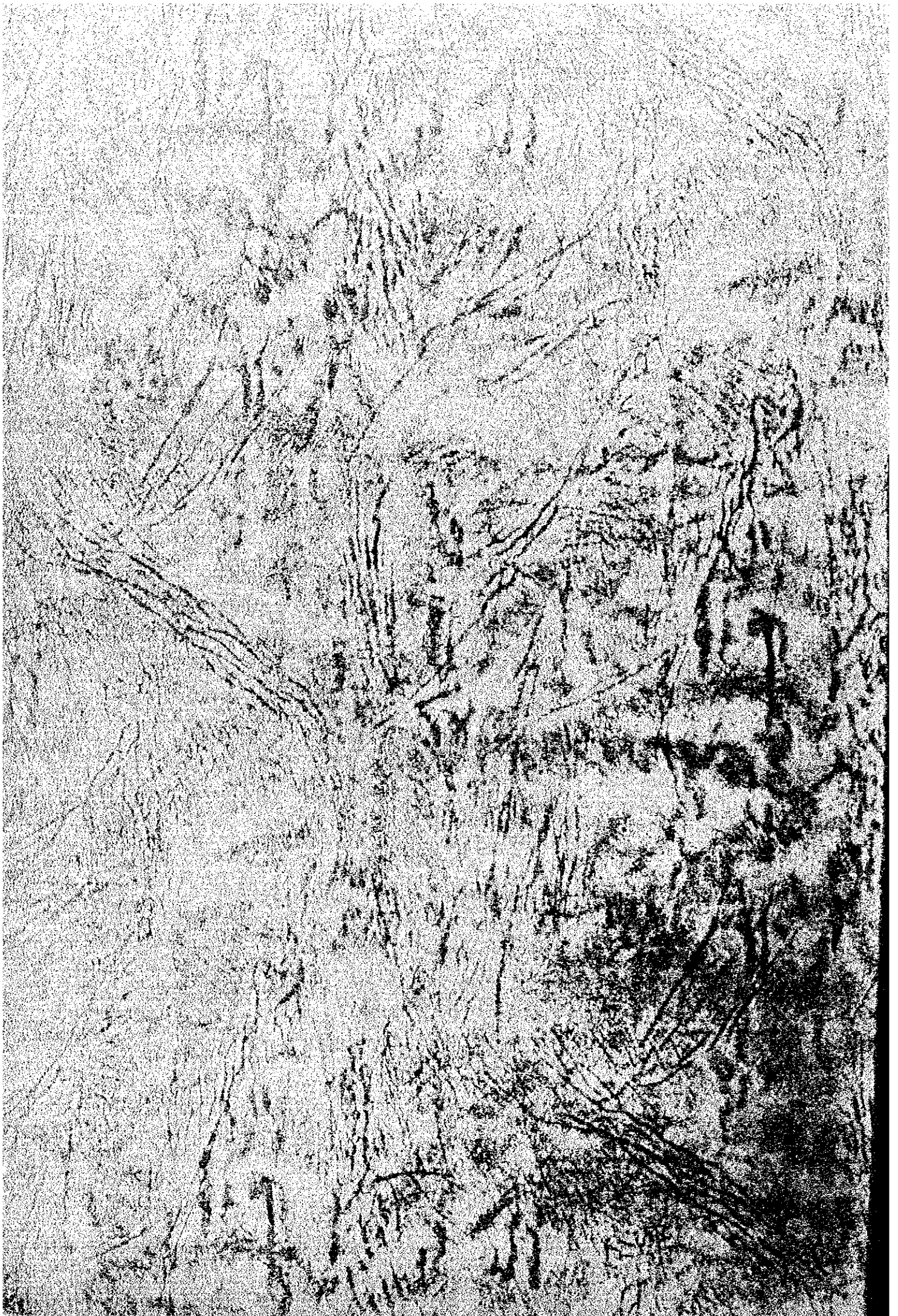
国際協力事業団

地三移

JR

00-07

RY



日本語教科書開発基礎調査

平成12年3月

国際協力事業団

ま え が き

近年、中南米の日本人移住先国においては、移住者子弟の世代交代が進むにつれ、「母国語としての日本語（国語）教育」から「外国語としての日本語教育」への質的転換の重要性が認識されてきております。

こうした状況を踏まえ、今回の調査では、移住者子弟のための現状に即した日本語教科書の開発に資するため、スペイン語圏の国々にある日本語学校を対象として、アンケート方式により、各学校での使用教科書の把握、その使用方法等を調べ、いくつかの代表的な教科書について、日本語専門家による分析及び考察を行い、現在各学校が抱えている課題、具体的なニーズを明らかにしました。

例えば、生徒の日本語能力レベルと使用教材レベルとの乖離等の理由から、授業の効果を十分に高めるには、適切な教科書開発の他、副読本や教材を活用する等の必要性についても指摘があります。

このような中南米における日本語教育の転換期において、本調査が、現場における授業の在り方を模索している日本語教育関係者の一助となり、また教科書開発など将来の日本語教育振興の役に立てられれば幸いです。

なお今回の調査は、これまでも日系人に関する種々の調査等で実績があり、中南米の事情に詳しい（財）海外日系人協会へ業務を委託し、日本語専門家で組織する「海外日系子弟日本語教育研究会」の協力を得ながら実施致しました。

最後に、本調査にご協力頂いた関係者の皆様に対し、深く感謝申し上げます。

平成12年3月

中南米部長



1158098 [2]

1. 調査の背景

中南米地域では、現在、日系子弟に対する日本語教育において、様々な教材が使用されている（ここで言う教材とは教科書と呼ばれる主教材、それを補助する副教材を合わせた教材群を指す）。当該地域の日系子弟への日本語教育は、その位置づけ自体が「国語としての日本語教育」から「継承語としての日本語教育」もしくは「外国語としての日本語教育」へと変遷する過程にある。歴史的背景によって、使用されている教材も他地域に見ないバリエーションを持っているが、これらの教材は、当該地域の変容する日系子弟教育において、どの程度の適切さを持っているのか。

「日系人と日本語教育の考え方に関する調査報告書」（平成8年5月）では、中南米日系社会の日本語教育教材の現状として、1) 母語話者を対象とした国語教科書を現在の日本語学校で使いこなしていくのは困難、と指摘する一方、2) 現地の自主開発教材に関しても、対象者の日本語能力レベルや年齢からみて適切な教材が十分に開発されていない等を指摘している。3年後の現在、母語話者の数がさらに低下していくなかで、国語教科書の使用はますます困難になっていると思われるが、それに替わりうると評価されるような教材は存在しているのか。

中南米地域における日系子弟向け日本語教育教材の現状把握は、昭和61年度および平成6年度に国際協力事業団により実施された「南米及びカナダにおける移住者子弟のための日本語学校概況調査」の中の調査項目の一つである。そこでは、学校ごとに使用教材名が記されているが、詳細には触れていない。また、資料を収集してから、すでに5年が経過している。この他にも、各地域で散発的な調査が行われているが、そのほとんどが使用教材を掲げる程度に終始している。日本語教育教材の適切さについては、さらに検討を要すると思われるが、その資料となるに十分な教材調査は未だ報告されていない。

また、自主開発教材に関しては、ブラジルでは日本語普及センターが国際協力事業団の協力により、日系子弟向けの日本語初級・中級レベル教科書および指導書を既に作成している一方で、スペイン語圏諸国においては、こうしたシリーズ教材や指導書は未だ作成されていない。よって、中南米地域においてはスペイン語圏における日本語教育教材の実態と適切さを詳細に把握し、必要に応じてこれを整備、作成することは優先されるべき課題であると考えられる。

2. 調査の目的

以上のような状況を鑑み、中南米スペイン語圏（以下、スペイン語圏）における日本語教育教材の整備、作成に関する調査を実施することとした。

1) よく用いられている主教材を特定し、2) その使用状況をカリキュラム、対象者、教授者の特性等から分析し、適切さについて考察する。今調査の目的は、これら使用教材の実態把握、問題点の整理に留まらず、教材開発の必要性までを検討するものである。

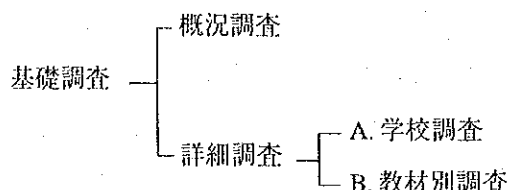
なお、開発の必要性が認められた場合、教育現場のみならず、さらに、保護者等関係者に対するニーズ調査が不可欠であり、教材開発に資することを目的として、本調査を進める方針である。これらの調査結果を踏まえ、有識者の意見を聴取した上で、望ましい日本語教育教材の「あり方」を検討することになる。

3. 調査・分析

日系社会における日本語使用の状況は、単に経年による変化だけではなく、世界情勢、特に経済的動向に影響を受け、変化している。また、日本語教育教材も、日本語教授法の理論的発展のみならず、日本語学習者の多様化に応じて、様々なタイプのものが出現している。したがって、スペイン語圏における教材の使用状況も望ましい教材像も、平成6年度の前回調査から大きく変化していると予測される。調査第一段階として、教材使用状況の概観が求められる。

そこで、下図のように調査を概況調査と詳細調査の2部に分けることとした。

(図) 調査の構成



まず、第一段階として概況調査を行い、スペイン語圏全体で使用度の高い主教材とその選択理由、望ましい日本語教材についての意見、教材に関する要望を明確にする。

ここで得た結果から、多くの学校で使われている主要教材を特定し、調査第二段階である詳細調査での分析対象とする。

3-1 概況調査

3-1-1 調査の概要

概況調査の第一の目的は、多くの学校で使われている主要教材の特定である。平成6年度の「南米及びカナダにおける移住者子弟のための日本語学校概況調査」では使用教科書が並列に記されているため、そのうちのどれを主教材としているかの特定が困難である。今調査では「主に使っているものをよく使う順に3つ」掲げてもらう形式にした。また、同時に「教材の選択理由」と「教材に望むもの」についても併せて質問する。

調査対象は国際協力事業団が日本語教育助成を実施している各校（64校）である。

調査手順として、まず、現在使用している教材についての簡単な質問紙（資料-1）を各国日系団体等に郵送し、傘下の各学校に転送もしくは電話等による聞き取り記入を依頼する。また、各校からの調査票の回収および返送も各国日系団体に依頼する。

分析方法

回答はクロス集計し、平成6年度日本語学校概況調査報告と併せた、スペイン語圏における使用教材の動態を記述する。また、スペイン語圏の主要教材とその選択理由について述べる。

3-1-2 調査結果

現在、主に使用されている教科書について、項目を絞った簡易なアンケートを、各校の窓口となり得る各国の日系団体等に送付し、傘下各校への電話等調査による記入、取りまとめ及び調査結果の返送を依頼した。(調査票は「資料-1」参照)。

(1)調査対象国、学校

調査対象国、学校は次の9カ国、64校である。

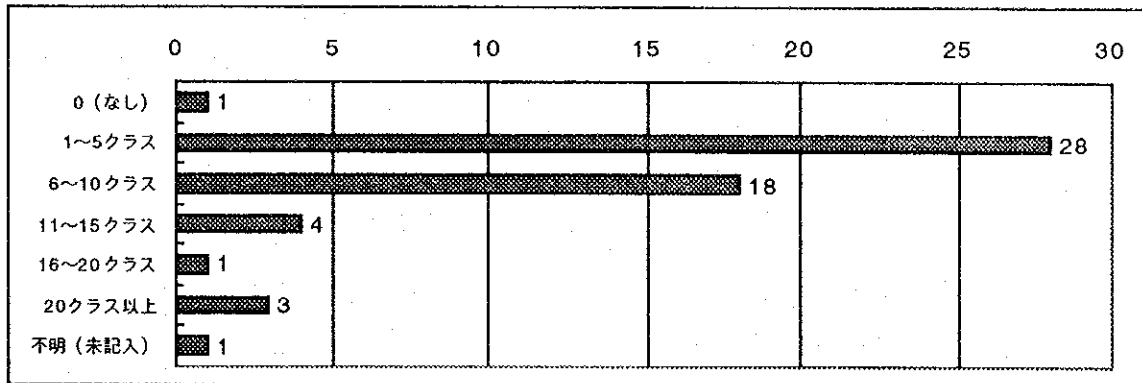
No	国名	日系団体名	日本語学校名
1	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	ブエノス・アイレス日亜学院
2	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	子羊学園
3	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	サルミエント日本語学校
4	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	エスコバル日本語学校
5	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	ノルテ日本語学校
6	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	アカスーソ日本語学校
7	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	西部日本語学校
8	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	マルコス・バス日本語学校
9	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	メルロ日本語学校
10	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	ブルサコ日本語学園
11	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	フロレンシオ・パレーラ日本語学校
12	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	ラ・プラタ日本語学校
13	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	マル・デル・プラタ日本語学校
14	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	コマウエ日本語学校
15	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	ロサリオ日本語学校
16	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	コルドバ日本語学校
17	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	ボサーダス日本語学校
18	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	アルト・パラナ日本語学校
19	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	ガルアペー日本語学校
20	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	コリエンテス日本語学校
21	アルゼンティン	在亜日本語教育連合会	北部メンドーサ日本語学校
22	コロンビア	コロンビア日系人協会	コロンビア日系人協会付属日本語学校
23	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会	サント・ドミンゴ校
24	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会	コンスタンサ校
25	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会	ハラバコア校
26	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会	ラ・ベীগ校
27	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会	ダハボン校
28	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会	ボナオ校

No	国名	日系団体名	日本語学校名
29	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会	サンティアゴ校
30	ドミニカ共和国	ドミニカ共和国日本語学校運営委員会	南部校
31	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	イグアス日本語学校
32	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	エステ日本語学校
33	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	アマンバイ日本語学校
34	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	エンカルナシオン日本語学校
35	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	アスンシオン日本語学校
36	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	ラ・コメルナ日本語学校
37	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	ラ・パス日本語学校
38	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	チャベス日本語学校
39	パラグアイ	パラグアイ日本人会連合会	ピラボ日本語学校
40	ペルー	ペルー日本語教師会	私立インカ学園
41	ペルー	ペルー日本語教師会	ヒデヨ・ノグチ小学校
42	ペルー	ペルー日本語教師会	ホセ・ガルベス小・中学校
43	ペルー	ペルー日本語教師会	ラ・ウニオン総合学校(ラ・ウニオン校)
44	ペルー	ペルー日本語教師会	ペルー日系人協会日本語普及部
45	ペルー	ペルー日本語教師会	いちご文化協会日本語教室
46	ペルー	ペルー日本語教師会	青嵐塾
47	ペルー	ペルー日本語教師会	ペルー・カトリック大学語学センター日本語科
48	ペルー	ペルー日本語教師会	ラ・ウニオン協会日本語部
49	ペルー	ペルー日本語教師会	ウカヤリ日秘文化会館(日系人協会)
50	ペルー	ペルー日本語教師会	ラ・ビクトリア校
51	ペルー	ペルー日本語教師会	ワチョ日系人協会
52	ペルー	ペルー日本語教師会	カニエーテ日系人協会
53	ペルー	ペルー日本語教師会	バランカ日系人協会
54	ペルー	ペルー日本語教師会	ワンカヨ日系人協会
55	ペルー	ペルー日本語教師会	ピウラ日系人協会
56	ペルー	ペルー日本語教師会	チクラヨ日系人協会
57	ボリビア	ボリビア日系協会連合会	サン・ファン学園
58	ボリビア	ボリビア日系協会連合会	オキナワ第一日ボ小中学校
59	ボリビア	ボリビア日系協会連合会	ヌエバ・エスペランサ小中学校
60	ボリビア	ボリビア日系協会連合会	サンタ・クルス日本語普及校
61	メキシコ	社団法人日墨協会	日本メキシコ学院
62	メキシコ	社団法人日墨協会	グアダラハラ日墨文化学院
63	ウルグアイ	在亜日本語教育連合会	ウルグアイ日本語学校
64	ヴェネズエラ	マラカイボ日本人会	マラカイボ日本人会付属日本語学校

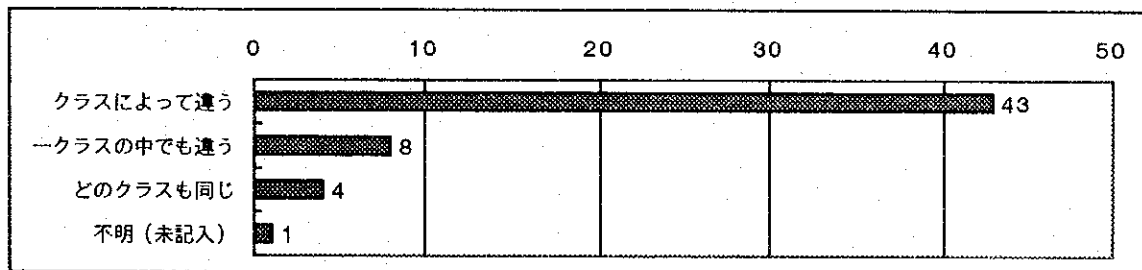
(2)集計結果

調査票回収数は56校分、回収率は88%であった。結果は以下の通りである。

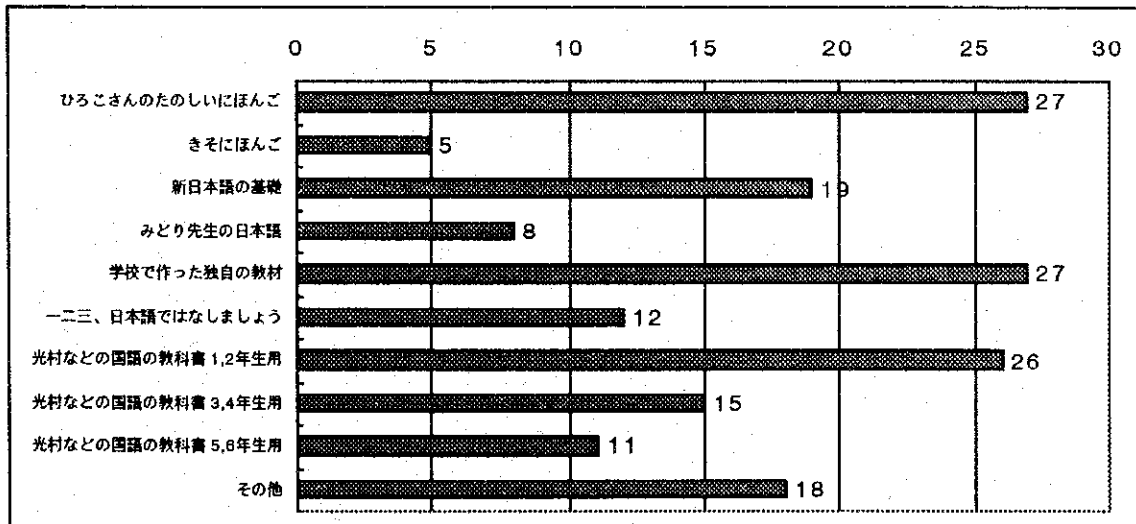
1) 16歳くらいまでの子どものクラス数



2) 教科書の差違

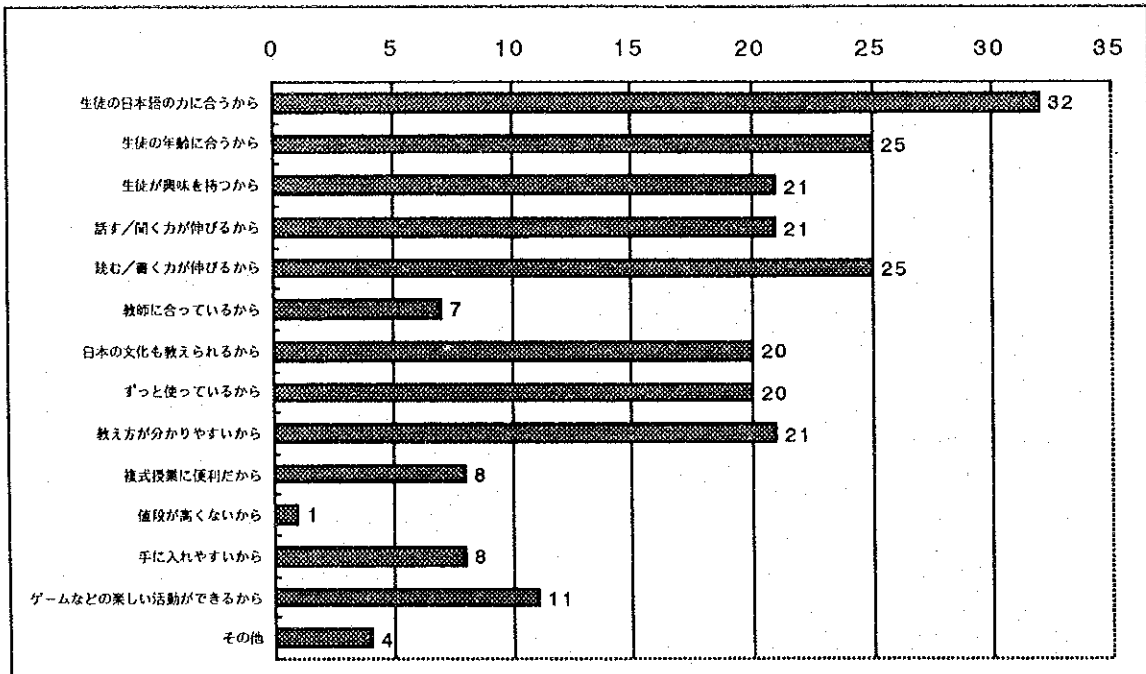


3)主な使用教科書(複数回答)



※平成6年度の「南米及びカナダにおける移住者子弟の為の日本語学校概況調査」では、国語系の教科書を使用している学校が最も多かった。

4)使用している理由（複数回答）



その他：指導書があるから (2)、テープ、ビデオが揃っているから、副教材が豊富だから

5)希望する教科書、その他

- | | |
|------------|----------------|
| 対訳版がある | 対象別・年齢別に作成 |
| 付属教材が豊富 | 使い方、教え方がわかりやすい |
| 練習問題が豊富 | 複式授業対応 |
| 楽しい練習問題 | 能力試験対応 |
| 読み物を含む | 会話力がのびる |
| 漢字学習ができる | 日本文化、習慣が理解できる |
| 情操教育を含む | 中南米の文化を取り入れる |
| ゲーム類を含む | 興味を持って学習できる |
| 口語体を使用 | |
| カラー印刷 | 成人用もほしい |
| 写真がある | 児童向け中級教科書もほしい |
| イラストが豊富 | |
| 親しめるキャラクター | 教科書を作成中である |
| ぬりえができる挿し絵 | |

教材グループ別分析

これらの教材は対象によって、4つのタイプに分類できる。

・日本在住の年少者向け国語教材

これは、日本国内で生活する日本語を第一言語とする子ども向けに書かれた教材であり、対象はすでに一定の口頭能力を持っていることが前提である。子どもの全人格的な発達を念頭において、主に豊かな表現力を身に付けることに重点を置いた教材で、光村出版、東京書籍等の『こくご』などがこれに当たる。

・日本在住の年少者向け日本語教材

これは、日本国内で生活する日本語能力が十分に発達していない子ども向けに書かれた日本語能力の育成に重点を置いた教材で、『ひろこさんのたのしいにほんご』などがこれに当たる。

・中南米在住の年少者向け日本語教材

これは、中南米地域で生活する日本語能力が十分に発達していない子ども向けに書かれた日本語能力の育成に重点を置いた教材で、『みどりせんせいのにほんご』『一二三にほんごではなしましょう』などがこれに当たる。

・日本在住の成人向け日本語教材

これは、日本国内で生活する日本語能力が十分でない大人向けに書かれた教材で、日本語能力の育成に重点を置いている。『新日本語の基礎』などがこれに当たる。

3-2 詳細調査

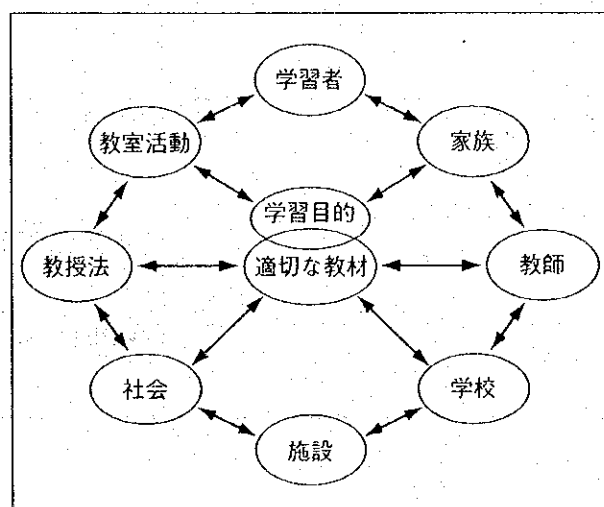
3-2-1 調査の概要

詳細調査では、概況調査の結果を受け、スペイン語圏で使用されている主な教科書を分析教材として取り上げる。

分析は今調査の目的に沿って、教材の適切さを中心に行う。

教材の適切さとは、その教材を使う者との関係、場所との関係、社会的背景等、様々な事柄との整合性によって測られるものである(図-1)。そして、これらの項目は相互に関連している。

(図-1)



「日系人と日本語教育の考え方に関する調査報告書」(平成8年5月)では学習者の保護者から見た日本語学習の目的として母語能力の育成、情操・道徳等全人的育成、日系アイデンティティーの確立、技術協力・就業、国際人養成、経済的観念の6項目が挙げられている。

教材の選択においては、教師が選択するケースが多いと思われるが、概況調査の結果にあるとおり、選択の基準はさまざまである。こうした項目を丹念に調べていくことが、望ましい教材のあり方を明確にするのだが、これらを一度の調査で処理するには、規模が大きくなり、分析に時間を要することが懸念される。

今回の調査では、教材の適切さを学校現場のニーズから見たものに限って、分析する。中南米の日系子弟教育の学校現場においては問題点として(1)教育目標の設定のあいまいさ、(2)教材を使用する者の多様性が挙げられよう。

そこで、調査は教材を使用する対象者、教授者、使用目的、使用形態、使用方法と教材に対する教授者の評価だけでなく、教育目標やカリキュラムとの整合性も併せて行うこととし、二種類の調査票を作成した。すなわち、教育目標やカリキュラムについて尋ねる「A.学校別調査票」と教材の使用目的や方法、使用者について尋ねる「B.教科書別調査票」である(資料-2, 3)。

調査対象は、概況調査で回答があった56校のうちの13校で、約四分の一にあたる。この13校は、学校の規模(大規模/中規模)、立地条件(都市部/奥地)などの異なる特徴を持ち、また各国の日本語学習者人口とのバランスを考えて抽出した(表-2)。

(表-2 詳細調査対象校)

国名	学校名	立地	規模	クラス数 [※]	主教科書
アルゼンティン	ブエノス・アイレス日亜学院	大都市	特大	22	みどり先生のにほんご その他
アルゼンティン	ブルサコ日本語学園	都市近郊	大	8	光村国語教科書 新日本語の基礎 その他
アルゼンティン	ラ・プラタ日本語学校	都市近郊	大	10	光村国語教科書 ひろこさんのたのしいにほんご
アルゼンティン	アルト・バラナ日本語学校	地方	中	4	
コロンビア	IBJ(IA)日系人協会付属日本語学校	都市	中	6	新日本語の基礎 ひろこさんのたのしいにほんご
ドミニカ(共)	サント・ドミンゴ校	都市	中	7	新日本語の基礎 その他
パラグアイ	イグアス日本語学校	地方	大	10	光村国語教科書

ペルー	いちご文化協会 日本語教室	都市	中	7	日墨学院にほんご教科書
ペルー	ラ・ビクトリア校	都市	大	20	ひろこさんのたのしいにほんご その他
ボリヴィア	サン・ファン学園	地方	大	12	教育出版国語教科書
ボリヴィア	サンタ・クルス 日本語普及校	都市	中	7	新日本語の基礎 一二三、日本語ではなしましょう
メキシコ	グアダラハラ日 墨文化学院	都市	小	3	新日本語の基礎 ひろこさんのたのしいにほんご その他
ヴェネズエラ	7カ体日本人会 付属日本語学校	都市	中	5	ひろこさんのたのしいにほんご 一二三、日本語ではなしましょう

*クラス数とは16才くらいまでの子どものクラスを指す。

調査手順は、上記13学校にA・B、2種類の質問紙直接送付し、可能な場合はカリキュラム表や自主開発教材等の資料を記入済み調査票に添付して返送する旨を依頼する。

分析方法

概況調査での分類にしたがい、教材を4つのカテゴリーに分け、それぞれのカテゴリーごとに教材の使用状況を分析し、そこからうかがうことのできる教材の適切さについて論じる。

また、これら各カテゴリーを横並びにして最後に考察を加え、望ましい教材のあり方、今後の調査方針について論じる。

国名 学校名 所在	使用教科書	1-1 カリ キュ ラム	2-1					3-1											3-2									
			A	B	C	D	E	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	あ	い	う	え	お	か		
			その他					その他											その他									
ドミニカ(共) サント・ドミン ゴ校 都市	新日本語の基礎 その他	臨機応 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他の内容 日系人として の自覚を持た せる	その他の内容	その他の内容 ビデオ
パラグアイ イグアス日本語 学校 地方	光村国語教科書	決まっ ている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他の内容	その他の内容	その他の内容	
ペルー いちご文化協会 日本語教室 都市	日墨学院にほんご教科 書	臨機応 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他の内容	その他の内容	その他の内容	
ペルー ラ・ビクトリア 校 都市	ひろこさんのたのしい にほんご その他	決まっ ている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他の内容	その他の内容 絵がたくさん入っているもの	その他の内容	
ボリビア サン・ファン学 園 地方	教育出版国語教科書	おおま か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他の内容	その他の内容	その他の内容 カードなど	
ボリビア サンタ・クルス 日本語普及校 都市	新日本語の基礎 一・二・三、日本語ではな しましょう	決まっ ている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他の内容	その他の内容	その他の内容	
メキシコ グアダラハラ日 墨文化学院 都市	新日本語の基礎 ひろこさんのたのしい にほんご その他	臨機応 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他の内容 子どもへのし つけ	その他の内容 日本文化・習慣・伝統などを紹介でき る教材	その他の内容	
ヴェネズエラ アカイ日本人会 付属日本語学校 都市	ひろこさんのたのしい にほんご 一・二・三、日本語ではな しましょう	臨機応 変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	その他の内容	その他の内容	その他の内容	

3-2-3 日本出版の年少者向け日本語教材

『ひろこさんのたのしいにほんご1』(初版1986年)

『ひろこさんのたのしいにほんご2』(初版1995年)

(0)はじめに

9歳の少女ひろこさんの生活を通して、日本の生活、習慣が自然に学べるように作られている。1課1文型の形をとった、年少者に、分かりやすく構文力がつけられる数少ない教科書である。また副教材が『文字練習帳1』『文型練習帳1』『文型練習帳2』『漢字・練習帳2』『絵カード1』『教師用指導書』と充実している点は指導経験の浅い教授者にとって使用しやすい教材である。しかし、コミュニケーション能力を高めることに焦点をあてる場合には教授者の指導能力が必要になると思われる。

今回教科書別調査を行った13校のうち、5校から、本教科書を使用しているという回答が得られたが、以下はそれについて分析、考察したものである。

(1)対象者の特性と本教材

学習者は年齢的には、6歳～32歳と幅広い。これは『ひろこさんのたのしいにほんご1』、『ひろこさんのたのしいにほんご2』の2冊を合わせた使用年齢になっていることも一因であろう。本調査では『ひろこさんのたのしいにほんご1』は小学生、中学生の日本語の初期指導に、また、『ひろこさんのたのしいにほんご2』は日本の高校生年齢、および成人の初級指導に使われている。

アルゼンティンのラ・プラタ日本語学校1校は本教科書で聞く力、話す力を伸ばすことを目的にしているが、残り4校はいずれも読む力、書く力の伸びを目的にして本教科書を使用している。

本教科書を高校生、成人に使用する場合には語彙、場面、表現等が9歳児に焦点をあてたものであることを認識し、学習者の年齢に合わせたものに置き換える等の工夫が必要であるがその点についての記載がなかったのでどのように使用されているかは不明である。

1)学習者の日本語使用に関して

「学校で使用」という回答が57人の学習者中9割近く、「家庭で使用」が1割強で、「家庭や学校以外のところで使用」は0であった。5校のうち1校が典型的な移住地校であってこの状況である。現在日系社会での日本語使用は、学校の中だけという子どもたちが大半になっているといわれているが、日系社会の現地化状況がこの少ない事例からもうかがわれる。

2)文字の読みについて

『ひろこさんのたのしいにほんご1』を使用しているラ・プラタ日本語学校(アルゼンティン)、コロンビア日系人協会附属日本語学校、グアダラハラ日墨文化学院(メキシコ)の3校では9割近くが「かながよめる」レベルで、「少し漢字がよめる」が1割強である。文字がまったく分からない初期指導から使用する教科書で、年齢6～7歳、学習歴0(ラ・プラタ)、年齢9～12歳、学習歴2年3か月(グアダラハラ)のケースはこの数字は当然である。しかし、年齢10～13歳、学習歴5年～8年(コロンビア)で、この数字は週当たりの学習時間が非常に短いのか、指導方法

に問題があるのか、現地化が進み学習動機に問題があるのか、より詳しい調査が必要であろう。この種のケースでは指導者自身の漢字習得に問題があることが多いが、本ケースは全て一世の教師である。

『ひろこさんのたのしいにほんご2』を使用しているラ・ビクトリア日系人学校（ペルー）、マラカイボ日本人会付属日本語学校（ヴェネズエラ）の2校では2割が「漢字がよくよめる（100字以上）」で、8割が「漢字が少しよめる（100字未満）」である。学習時間の短い中ではこの程度は妥当なところなのであろうか。

3)読解力について

5校中1校は無回答、残りの4校のうち日本語教育水準での回答と、日本の小学校の教科書の学年での回答が2校ずつである。ラ・ビクトリア日系人学校は、学校以外では全く日本語を使用しない環境で、教師の指示は9割以上が「スペイン語がないとわからない」という完全に現地化されている環境である。また、マラカイボ日本人会付属日本語学校は家庭でも日本語を使用する子どもが半数で、教師の指示は8割が「簡単な日本語ならわかる」という。ラ・ビクトリア校ほど極端ではないが、現地化が進みつつある。この2校が日本語教育水準での回答をしているのは現状をよく認識しているといえる。また、ラ・プラタ日本語学校は日本語がほとんど母語の移住地の子どもたちであるから、日本の小学校の教科書の学年での回答は当然であろう。しかし、コロンビア日系人協会付属日本語学校では、半数が教師の指示が「スペイン語がないとわからない」で、学校以外では一切日本語を使用しない状況である。その状況下で教師が日本語教育用教科書で指導しているにもかかわらず、日本の小学校の教科書の学年での回答をしている。これは教授者の側での基本的な日本語教育と国語教育の違いの認識がされていないといえるのではないか。

4)書く力について

ラ・プラタ日本語学校の子どもたちの年齢（6～7歳）で「書く力」全く0は母語話者であっても文字の書きがスタートする時期であるので特に問題はない。それ以外の学校での状況をみることにする。「簡単な文が書ける」が6割、「単語が書ける」2割弱、「短い作文が書ける」1割強、「報告書や感想文等いろいろな文が書ける」1割である。

本教科書を使用するレベルであるからこの程度の書く力は納得であるが、高校生や成人で5年以上の学習歴のあるような場合はもう少し効果をあげる方法を検討する必要がある。

5)話す力について

ラ・プラタ日本語学校1校は「普段の生活に不便はない」が全員である。他の4校をみると、「単語や挨拶程度」4割弱、「簡単な文を並べて何とか言える」6割強、「普段の生活に不便はない」ほとんどいない。

ラ・プラタ日本語学校の日本語習得状況は重要な中南米の特殊性を示している。また、他の4校の状況をみると、定期的に学習しているにもかかわらず、4割近くが「単語や挨拶程度」しか話せないということである。話し言葉が充満している日本でさえ会話力をつけることは難しいといわれているのであるから、中南米という、教室の外では全く日本語が使われていない環境において話す力を伸ばすことは難しい。中南米で現在行われている読み書き中心の指導方法では解決できないこ

とは明白である。

6) 聴解力について

ラ・プラタ日本語学校は「話す力について」と同様、「普段の生活に不便はない」が全員である。他の4校をみると、「単語や挨拶程度」2割強、「習ったことのある簡単な文が分かる」半数以上、「家庭で使うことばが分かる」2割である。

移住地を除けば、日本語を自然に耳にする機会はほとんどない環境で聴解力は意識的につけなければ力をつかないのは当然であろう。また、ラ・プラタ以外で「家庭で使うことばが分かる」が2割ある。つまり、前述の「家庭内で使用しない」ということは、「家庭内で話さない」と解釈できるのではないか。聞いて理解ができる程度は現地化している4校でも2割は存在することになる。

7) 教師の指示の理解度について

ラ・プラタ日本語学校1校は「日本語だけでわかる」が全員である。移住地の子どもたちは母語としてはほぼ確立しているのであるから当然で、この子どもたちの現地語の習得状況を把握する必要がある。

他の4校では「スペイン語がないとわからない」が6割弱、「簡単な日本語ならわかる」4割弱、「日本語だけでわかる」ほとんどいない。ラ・プラタ日本語学校と対照的で、教師の指示はスペイン語にごくやさしい日本語が混じった形でしか伝わらなくなっているのが現状であろう。

(2) 教授者の考え方と本教材

教材の評価について

使用目的にラ・プラタ日本語学校以外の4校が全て「読む力」「書く力」を選んでいる。また、「本教科書を使ってみて良いと思う点」に5校中4校が「学習目標と合っている」、5校中3校が「練習問題がよくできている」、5校中3校が「教えやすい」を選んでいる。また、ラ・プラタ日本語学校は「聞く力」「話す力」の伸びを目的に選んでいる。そして、不満足な点に「口頭練習の問題が少ない」「子どもらしい自然な表現ではないので会話にはそのまま使えない」を挙げている。教授者の創意工夫の必要性はもちろんではあるが、本教科書を使っての学習目的に「自然な会話習得」は合っていないといえる。自然な会話を自由にできる子どもたちに必要なことは、場に合ったきちんとした形での表現や構文力を養う、文章を読んだり書いたりする力をつけ日本の文化や習慣を情報として学ぶ、そして、現地の文化や習慣との違いやそれぞれの良いところ等を知る等ではないだろうか。

不満足な点については5校中3校が「口頭練習の問題が少ない」を選んでいる。外国語として学ぶ子どもたちにとって、基礎力をつける目的には合っていると思われるが、運用力をつける目的には教授者の創意工夫が要求される教材である。

(3) 学校の方針と本教材

カリキュラムがあるかないかということでは5校中4校は「決まっている」と回答している。カリキュラムの内容が問題である。依然として日本の学校をモデルにした一見立派なカリキュラムが

作られ、それに則った授業ということで、学習者が二の次になっているケースもあるのではないだろうか。

(4)教室活動と本教材

本調査では実際の活動状況は見えてこない。いろいろな副教材を使用していると書かれているがそれをどのように使っているかはよくわからない。多くは教科書の読み書きとゲームや歌を盛り込んだ日本の行事をイベントとして行っていると思われる。日本の文化や行事を日本語授業と切り離してイベントとして行うのではなく、教室活動に取り込んだ形で、準備段階から工夫して意識的に日本語習得を考えて進める等は今後に残された課題であろう。

(5)考察

今回の調査で『ひろこさんのたのしいにほんご1,2』を使用していると回答している5校を対象に考察を試みた。この5校をもって中南米における『ひろこさんのたのしいにほんご』の使用状況の分析をすることはできない。しかし、5校の状況から何らかの傾向をみることはできるのではないかと考える。また、この断面から中南米における日本語教育の傾向、様相等も多少なりとも窺えたように思う。

中南米における日本語教育の大きな特徴の一つである移住地の子供たちの状況が1校からの回答から見えてくる。南米の地にあつて忽然と日本村が登場する。そこでは日系の人々の思いのこもった日本が受け継がれている（現在の等身大の日本とは違う日本ではあるが）。子どもたちは日本語を母語とし、現地語習得に問題点をもっている場合も多い。

移住地の子供たちであるから、日本語で自然に話したり人の話を聞き取ったりは100%できる。そのような子どもたちに対してはどこに焦点をあてて日本語学習をさせるべきなのか。当該校の初期指導の教授者は聞く力と話す力を伸ばすために本教材を選んだということであるが、本教材は文型積み上げの形態をとっており、日本語を体系的に学習し、構文力を身につけ、その上で読む力書く力を身につけるのに適していると考えられる。もし、自然な会話力、聞く力をつけることが目的であれば、ゲームや、アクティビティーを盛り込んだ、コミュニケーション指導に工夫が要求される。そしてそこに焦点をあてた教材の方がより適していると思われる。教材選びの観点の違いから「子供らしい自然な表現ではないので、会話にはそのまま使えない」や「子供用の会話教材がほしい」等の意見が出てくるのであろう。しかし、この地域の子供たちは自然な話しことばは十分わかっているわけであるから、「聞く力と話す力を伸ばすために」というより、無意識化している日本語表現をしっかり意識化し、体系的な学習に力をいれることが大切であろう。その意味では本教材は適していると考えられるが、教授者がその点に気付かずに指導している場合には効果があがらないであろう。

二つ目は移住地にあるアルゼンティンのラ・プラタ日本語学校とは対照的に、スペイン語を母語としている子どもたちが通ってきている学校である。教授者は日本語を母語とする一世とスペイン語を母語とする二世、三世と一緒に活動している。この中で、日本語を外国語として客観的に分析

できる、つまり外国語としての日本語指導のできる教授者が少ないと思われる。教科書を使って読み書き指導はできるが、コミュニケーション能力を伸ばす指導のできる教師がこの地に必要である。学習がスタートして5年～8年のケースではもう少し日本語の運用能力がついていなければならないと考える。9割以上が「スペイン語がないと教師の指示がわからない」であるが、そのレベルから「簡単な日本語ならわかる」に進めるにはもっと聞く力、話す力に力をいれた授業活動を工夫しなければならない。「求められる教科書」の欄に「教室以外の場所でも日本語を使うように作られた教材」と書かれてあるので、強化すべきポイントに気づいている教授者もいると思われる。今、日本語でのコミュニケーション能力を高めるための教材が求められている。

まとめ

以上5校の教科書使用状況から考察を試みたが、以下の2点をまとめとして述べたい。

1. 5校全てで会話力の育成を望んでいる。一方日本語で授業を進められる日本語能力のない教授者が増えている。当然の結果として調査結果にも出ているように日本語が話せない子どもたちがどんどん増えているのが現状である。現地語と日本語を駆使できる若い指導者の育成が急がれる。
2. 5校で望んでいる教材を総称すると、日本語でのコミュニケーション能力を高めるための教科書ということになるであろう。しかし、各国の事情が多様な中南米全体に合った教科書を一冊作成するということは現実問題としてむずかしいのではないか。各国でその状況にあった教科書をその国で作成することが望ましい。それを作成するために必要な材料と手法のリソースの作成と提供が適していると考ええる。

アンケート内容及び集計結果

1. 対象

- 1-1 この教科書を使っているクラスはいくつありますか。
- 1-2 そのクラスはどんなクラスですか。
- 1-3 そのクラスの生徒たちはいつもどんな場面で日本語を使っていますか。
- 1-4 そのクラスの生徒たちの日本語のレベルはどのくらいですか。

文字を読む力

- A: 漢字がよく読める(100字以上) B: 漢字が少し読める(100字未満)
- C: かなが読める

読解力

- A: 上級程度 B: 中級程度 C: 初級程度

書く力

- A: 報告書や感想文等いろいろな文が書ける B: 短い作文が書ける C: 簡単な文が書ける
- D: 単語が書ける

話す力

- A: 普通の生活に不便はない B: 簡単な文を並べて何とか伝える C: 単語や挨拶程度

聴解力

- A: 普通の生活に不便はない B: 家庭で使うことばがわかる C: 習ったことのある簡単な文がわかる
- D: 単語や挨拶程度

教師の指示

- A: 日本語だけでわかる B: 簡単な日本語ならわかる C: スペイン語がないとわからない

国名	1-1 使用 クラス 数	1-2						1-3 家庭 学校 それ 以外	文字 を読む 力 A B C	1-4				教師 の指 示 A B C
		クラ ス名	生 徒 数	年 齢	学 年	学 習 歴	能 力 差			読 解 力 日 本 の 学 校 の 教 科 書 で	書 く 力 A B C D	話 す 力 A B C	聴 解 力 A B C D	
アルゼンティン	1	小学1 年生	6名	6~7 歳	1年生	0年	少し ある	5名 0%	1年生 100%		0%	100%	100%	100%
ラ・プラタ日本 語学校	10							6名 0%			70%	0%	0%	0%
								0名 100%			30%	0%	0%	0%
コロンビア	3	4学級	12名	10~ 13歳	3~5 年生	5~8 年	少し ある	0名 0%	1年生 80%		0%	0%	0%	0%
IBJ日系人協 会付属日本語学 校	6							12名 10%	2年生 20%		30%	50%	10%	50%
								0名 90%			20%	50%	50%	50%
ペルー	1	中学5 年生が 7~7A	24名	16~ 17歳	中学5 年生		大き な差 がある	0名 4%			4%	4%	8%	8%
ラ・ビクトリア 校	20							24名 96%			0%	4%	92%	0%
								0名 0%			96%	0%	0%	92%
メキシコ	1	子ども クラス (平 日)	4名	9~ 12歳	3~6 年生	2年3 ヶ月	あま りな い	0名 0%			0%	0%	0%	0%
グアダラハラ日 墨文化学院	16							4名 30%			0%	50%	50%	25%
								0名 70%			50%	50%	25%	75%
ヴェネズエラ	4	中級A	6名	13~ 32歳	中1~ 成人	5~7 年	少し ある	3名 0%			0%	0%	0%	0%
IBJ日本人会 付属日本語学校	5							3名 100%			0%	20%	50%	50%
								0名 0%			100%	0%	50%	20%

2. 使用目的と評価

2-1 この教科書は主にどんな力を伸ばすために使っていますか。

2-2 この教科書を使って、良いと思う点はどんなところですか。

- A: 生徒のレベルに合っている B: 生徒の好みに合っている C: 学習目標と合っている
D: 量がちょうどいい E: 練習問題がよくできている F: 教えやすい G: その他

2-3 この教科書の満足度を数字で表すと何%ぐらいですか。

2-4 この教科書で満足できない点はどんなところですか。

- a: 全体的に量が多すぎる b: 全体的に量が少なすぎる c: 練習問題の量が多すぎる
d: 練習問題の量が少なすぎる e: 口答練習の問題が足りない f: 読み書きの問題が足りない
g: ローマ字がついていない h: 漢字のふりがながよくない i: シラバス(学習項目の配列の仕方)が合わない
j: 教え方がわかりにくい k: とり上げている語彙や主題が合わない l: 生徒のレベルに合わない
m: 授業の準備がしにくい n: 生徒が好まない o: 付属教材が少ない p: 手に入りにくい q: 高い r: その他

国名 学校名	2-1				2-2			2-3	2-4																							
	読む力	書く力	話す力	聞く力	A	B	C	D	E	F	G	満足度	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r		
アルゼンティン ラ・プラタ日本語学校		○	○									60~70%																				○
満足点 G:その他の内容												不満足点 R:その他の内容	子どもらしい会話には使えない																			
コロンビア 加光ア日系人協会付属日本語学校	○	○					○			○	○	80%					○														○	
満足点 G:その他の内容												不満足点 R:その他の内容																				
ペルー ラ・ビクトリア校	○	○					○			○																						
満足点 G:その他の内容												不満足点 R:その他の内容																				
メキシコ グアダラハラ日墨文化学院	○	○					○					50%					○	○												○	○	
満足点 G:その他の内容												不満足点 R:その他の内容																				
ヴェネズエラ アカサ日本人会付属日本語学校	○	○	○							○	○	80%					○	○														
満足点 G:その他の内容												不満足点 R:その他の内容																				

3. 教授者

3-1 この教科書を使っている教師は何人いますか。またその内訳は。

3-2 では、その教師の中で、日本語教育の専門研修を受けた人は何人いますか。

それはどんな研修ですか。

A: JICA の汎米研修 B: JICA の日本語教師研修 C: 国際交流基金の日本語教師研修 D: その他

3-3 先生たちの日本語教育経験はどのくらいですか。

国名 学校名	3-1						3-2				3-3 教育経験	
	全教師数	使用教師数	教師1世	教師2、3世	シニア	青年	研修歴	A	B	C		D
アルゼンティン ラ・プラタ日本語学校	6名	1名	0名	1名	0名	0名	1名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6年~17年
その他の内容												
コロンビア 加光ア日系人協会 付属日本語学校	6名	3名	3名	0名	1名	1名	2名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6年2ヶ月~31年
その他の内容												
ペルー ラ・ビクトリア校	5名	1名	0名	1名	0名	0名	1名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5年
その他の内容												
メキシコ グアダラハラ日 墨文化学院	6名	2名	1名	0名	0名	1名	2名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3年
その他の内容												
ヴェネズエラ アライド日本人会 付属日本語学校	5名	4名	4名	0名	0名	0名	1名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1年6ヶ月~14年
その他の内容												

ひろこさんのたのしいにほんご

4. 教室活動

4-1よくする活動を選んでください。

本文や会話を

- A: 読み聞かせる B: 読ませる C: 訳させる D: 書かせる E: 覚えさせる F: 会話させる
G: 演じさせる H: その他

新しい文型を

- a: 読ませる b: 訳させる c: 話させる d: 書かせる e: 覚えさせる f: その他

新しいことばを

- あ: 読ませる い: 訳させる う: 話させる え: 書かせる お: 覚えさせる か: その他

新しい漢字を

- ア: 読ませる イ: 書かせる ウ: 覚えさせる エ: その他

絵・音楽・体の活動

- 1: 絵を書く 2: 歌を歌う 3: 踊る 4: 工作する 5: 紙芝居 6: ゲーム 7: スポーツ
8: 活動その他 9: しない

		4-1																															
国名	本文や会話								新しい文型						新しいことば			新しい漢字			絵・音楽・体の活動												
学校名	A	B	C	D	E	F	G	H	a	b	c	d	e	f	あ	い	う	え	お	か	アイ	ウ	エ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
アルゼンティン																								漢									
ラ・プラタ日本語学校	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容												
コロンビア																																	
コロンビア日系人協会附属日本語学校	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容												
ペルー																																	
ラ・ビクトリア校	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容												
メキシコ																																	
グアダラハラ日墨文化学院	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容												
	声を出して読ませる																	○			絵カードの使用												
ヴェネズエラ																																	
ラカベ日本人会附属日本語学校	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容												

ひろこさんのたのしいにほんご

4-2 どんな形態で活動しますか。

4-3 この教科書を使うとき、どんな補助教材・教具を使いますか。

A: テープ B: ビデオ C: 絵カード D: 文字カード E: ドリル帳 F: その他

4-4 スペイン語を使いますか。

国名 学校名	4-2					4-3						4-4
	一斉授業	グループ・ペア	個別授業	その他の形	複式授業	補助教材						スペイン語
						A	B	C	D	E	F	
アルゼンティン ラ・プラタ日本語学校	いつも	ときどき	しない		しない	<input type="radio"/>						使わない
コロンビア コロンビア日系人協会 付属日本語学校	いつも					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	よく使う
ペルー ラ・ビクトリア校	いつも	ときどき				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		よく使う
メキシコ グアダラハラ日 墨文化学院	<input type="radio"/>	しない	ときどき		しない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					よく使う
ヴェネズエラ マカベ日本人会 付属日本語学校	いつも	ときどき	ときどき			<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ときどき使う

ひろこさんのたのしいにほんご

5. 教科書の選択と関連性

5-1 使う教科書はどうやって選ぶのですか。

A: 教師が選ぶ B: 担任が選ぶ C: 相談して選ぶ D: 学校が決める E: その他

5-2 この教科書が選ばれた理由は何ですか。

5-3 この教科書はこの学校でどのくらいの期間使われていますか。

5-4 この教科書が終わった生徒には、次にどんな教材を使いますか。

5-5 この教科書に入る前に生徒は、どんな教材を使って勉強しましたか。

国名 学校名	5-1					理由	期間	5-4		5-5
	A	B	C	D	E			次に進む教材名 著者・出版社	未定	
アルゼンティン ラ・プラタ日本語学校			<input checked="" type="checkbox"/>			初級文法項目が網羅されており教えやすい	1年	わくわく文法リソングをもとにした自主教材 凡人社		
コロンビア コロンビア日系人協会付属日本語学校			<input checked="" type="checkbox"/>			漢字と仮名が混じっている	2年6ヶ月	わたしのにほんご アリアンサ・コロombo・ハボネス		かな入門 国際交流基金
ペルー ラ・ビクトリア校			<input checked="" type="checkbox"/>			「日本語ペルー人のために」で学習した文型を応用するため	2年			日本語ペルー人のために 龍田 俊夫
メキシコ グアダラハラ日墨文化学院			<input checked="" type="checkbox"/>			学校に合う（「にほんごで話そう」は難しかった）	1年	新日本語の基礎		なし
ヴェネズエラ マカベ日本人会付属日本語学校	<input checked="" type="checkbox"/>					教えやすい	5年		<input checked="" type="checkbox"/>	日本、ドミカ、洋ソ、ブラジル等の多くの教材

ひろこさんのたのしいにほんご

3-2-4 現地出版の年少者向け日本語教材

『みどりせんせいのたのしいにほんご』

『みどりせんせいのたのしいにほんご 4年生～6年生用』『3年生と4年生』

(0)はじめに

『みどりせんせいのたのしいにほんご』シリーズ（以下、『みどり先生』）はアルゼンティンのブエノス・アイレス日亜学院から刊行された日本語教科書である。中南米9カ国の56校からの回答（回収率88%）結果では8校で使われており、中南米においてそれなりの位置を占める教科書と言えよう。ただし、詳細調査の回答は、教科書の刊行母体である1校のみであるため、回答が中南米全体から見て平均的な傾向を示すものとは限らない。また、回答者も学校の総意をはかって記入する手順は踏んでいないと思われるし、また、そこまで要求したわけでもない。そのような限界を十分認識した上で、調査結果について考えたい。

(1)対象者の特性と本教材

日亜学院全校18クラスのうち、本教材が使用されているのは3クラスである。バイリンガルコース4年生となっており、日本語の学習歴は4年から6年ぐらいである。回答者はひとクラス内の生徒の日本語能力には大きな差があるとしているが、生徒たちの学齢は同一で、日本語の学習年数もかなり類似している。無論、単式クラスといっても、家庭での日本語への取り組み等の日本語環境は個々の学習者によって大きく異なり、授業時間数の限られたクラスの生徒もいて、日本語能力にも差があるとは思われる。ただ、差があるといっても、小学校4年生の段階で、漢字100字以上が読める、短い作文が書ける、簡単な文を並べて話す、教室で使うことばを聞いて理解する、先生の日本語だけの指示がわかるレベルを全員がクリアしている。つまり、全員がかなりのレベルに達している上での差異であり、他の多くの複式授業に見られる差異とは程度が異なるのではないだろうか。

(2)教授者の考え方と本教材

調査の設問に、本教科書の使用目的を問う箇所がある。4技能のうち、どんな力を伸ばすために使っているかを問うものであるが、「話す力」と「書く力」があげられている。つまり、発信技能が目的とされている。中南米において、かなり普及していたのが日本語能力試験だが、大規模試験ということもあり、「聞く力」と「読む力」などの受容能力が評価される。無論、発信能力は受容能力なしには育成できるものではなく、表裏一体であることは確かであるが、この教科書で特に日本語能力試験の対応がなされているわけではないと考えるべきだろう。教科書の語彙は年齢に合ったものになっており、漢字の導入も同様である。成人向けである日本語能力試験は付随的なもののみなし、学習者に適切であることが優先されている。教授者の考え方と使用教材の性格は一致している。

さらに、教科書が選ばれた理由として「文型が整理されている」という回答を得ている。これもまた教科書の性格から考えて当然の回答だと言えよう。本教科書の中心的シラバスは文型・文法であり、具体的な目標は初級文型・文法の整理・定着にある。その目標に向かって見やすく、余計な

ものはそぎ落とす形の編集がなされている。現時点において、教師も学校も、そして学習者自身も保護者も、日本語学習の目標をまず文法項目の整理に置いているのかもしれない。

(3)学校の方針と本教材

本教科書は前書きに「日亜学院の子どもたちのために作られた」と述べることによって、その成り立ちの個別性を打ち出している。他の学校で使われる可能性には言及されているが、やはり最初のインパクトは大きい。刊行母体となった日亜学院は授業時間数、生徒数ともに多く、早くからバイリンガル教育に取り組んできた学校である。中南米の多くの日本語教育関係者からモデルとみなされていると言っても良いような日本語教育環境の整った学校で、集中的な学習用に開発されたのが本教材だという点は認識したい。

『みどり先生』では、外国語としての日本語教育の立場から、文法項目を無理なく無駄なく積み上げていくことが重視されている。学齢があがるにつれて、て型、自動詞・他動詞、可能形、受身形といった文法用語も出てきて、時には文法項目一覧などが提示される。学習者に分析的に日本語を学ばせる姿勢が感じられる。では、学校全体の目標もスペイン語の第一言語としての運用能力を持ち、日本語の初級文法能力を備えた子供を生み出すことに留まるだろうか。日亜学院では他の目標の実現のために、他教材との併用をしている。『みどり先生』使用のクラスは三つに限られ、使用教師も三人である。主たる教材としても、このほかに自主教材も『やさしい日本語』も採用されている。今回の調査から見るところ、学校の教育方針としては、日本文化に対する理解、情操面の発達、日系人としての自信の育成などが重視されている。しかし、そのすべての情報源を『みどり先生』に求めているとは思えない。無理のない文法定着型教科書として、あるいは、文法理解のためのリソース型教材のひとつとして用いているのではないか。

『みどり先生』には対訳が出てこず、あくまで日本語で通した教科書である。日亜学院の教師は二世、三世が主力であるから、スペイン語の能力が低いわけではない。バイリンガル教育については、稿を改めて考えたいが、スペイン語学校とは分けて、日本語は日本語で教えるという方針が立てられていると推察される。教科書の最初に五十音図が出ているだけで、最初の課からすべての表記が日本語の仮名文字によって書かれている。この教科書に入る前に、仮名文字の導入と定着が前提とされているのであろうし、実際に調査回答から、他の教科書を導入前に使用していることがわかる。それがなければ学習者にとって相当辛い負担になるであろう。

(4)教室活動と本教材

本教科書を用いて、どのような教室活動が行われるのだろうか。調査回答では、以下の活動が選択されている。

- ・本文や会話文を、読ませる、会話させる。
- ・新しい文型を読ませる、話させる、覚えさせる。
- ・新しいことばを読ませる、話させる、覚えさせる。
- ・新しい漢字を読ませる。

・あいだでゲームを入れる。

最後の活動を除けば、伝統的な勉強型の活動が並んでいる。それも活動形態の回答から、一斉授業がかなりを占めていると推察される。教科書の作り方がそういった活動に向けたものだということは言えるかもしれない。逆に言えば、グループ形態でのテーマ学習とかプロジェクト・ワークとかを考えた場合は、異なる教材が必要になるということである。

(5)考察

以下、ふたつの点を中心に本教材について考えたい。

数々の優れた点を持つ『みどり先生』が、教科書の満足度としては50%となっている点はなぜだろうか。それについてはふたつの理由に印が付けられている。練習問題の量が少なすぎることと、生徒が好まないという2点である。無論、回答者は教授者であって生徒ではないのだが、現場の教授者の判断は尊重されるべきである。

前者についてであるが、本冊は挨拶の定型表現導入の後は、「○は○です」の名詞文から始まり、整然と文法項目の積み上げが行われている。原則として見開き2ページで、左側に新しい文型・文法項目が明示され、右側にそれを含む会話例が4コマ漫画の形で出ている。すっきりと中核の部分だけを扱っているのであるが、本冊以外の『3年生と4年生』には、丸埋めの形の文法問題、質問応答問題、会話聴解問題、短文作成問題など、種々の練習問題が見られる。さらに、付随教材について「この教科書に準じた『絵カード』や『カセット』や『ビデオ』も作成する予定です」「教科書は提出の順序と事例にしか過ぎません」という前書きが示す通りで、様々な副教材が加えられる方向が示されている。補助教材・教具の質問に対する回答では、「ドリル帳」に加えて「絵カード」もあがっているため、それらは既に少なくとも学校内の内部資料としては作成されていることがわかる。

調査では、さらに指導要領、漢字練習帳、活動集、テープ、文型ドリル帳などの作成が希望されている。少なくとも、現時点で手元にこれらはない。本冊が普及するのであれば、今後共同制作などが望ましい。

さて、後者の不満「生徒が好まない」について考えたい。この教科書が、学習者から見てわくわくさせてくれるような内容を持った教科書かと問われれば、必ずしも肯定的な回答はできないというのが、現場の教授者の実感であろうか。本教科書には、「これはペンじゃありません。これはえんぴつです。」「いまなんじですか。1じです。」「なんでてがみをかきますか。ペンでかきます。」といったわかりきった日常を日本語で表現する内容が多い。わかりきっているからこそ、日本語だけで導入出来るのであり、意外性を含んだ内容であればスペイン語の助けが必要だという配慮であろう。しかし、そのような狭義の「言語教育」という観点に立つゆえに、子どもの想像力をかき立てるとか、この教科書によって算数や社会の新しい知識や理解力を育てていくといった機能は果たせないことになる。学習者にとっては知的チャレンジを内容から得ることは難しいのである。語学学習のための日本語授業に徹するという点が、ともすれば退屈さにつながり、必ずしも学習者からは熱狂的に受け入れられないという可能性を生んでいるのではないだろうか。

アンケート内容及び集計結果

1. 対象

- 1-1 この教科書を使っているクラスはいくつありますか。
- 1-2 そのクラスはどんなクラスですか。
- 1-3 そのクラスの生徒たちはいつもどんな場面で日本語を使っていますか。
- 1-4 そのクラスの生徒たちの日本語のレベルはどのくらいですか。

文字を読む力

- A: 漢字がよく読める(100字以上) B: 漢字が少し読める(100字未満)
- C: かなが読める

読解力

- A: 上級程度 B: 中級程度 C: 初級程度

書く力

- A: 報告書や感想文等いろいろな文が書ける B: 短い作文が書ける C: 簡単な文が書ける
- D: 単語が書ける

話す力

- A: 普通の生活に不便はない B: 簡単な文を並べて何とか伝える C: 単語や挨拶程度

聴解力

- A: 普通の生活に不便はない B: 家庭で使うことばがわかる C: 習ったことのある簡単な文がわかる
- D: 単語や挨拶程度

教師の指示

- A: 日本語だけでわかる B: 簡単な日本語ならわかる C: スペイン語がないとわからない

国名	1-1	1-2						1-3	1-4							
	使用クラス数	クラス名	生徒数	年齢	学年	学習歴	能力差	家庭 学校 それ以外	文字を読む力 A B C	読解力 日本の学校の教科書で A B C			書く力 A B C D	話す力 A B C	聴解力 A B C D	教師の指示 A B C
アルゼンティン	3	ハイソ ガル 4年生	16名	10~ 11歳	4年生	4~6 年	大きな差がある	1名	100%		0%	0%	7%	7%	100%	
ブエノス・アイ レス日亜学院	18	A						15名	0%		0%	100%	0%	93%	93%	0%
								0名	0%		100%	0%	0%	0%	0%	

みどりせんせいのたのしいほんご

2. 使用目的と評価

2-1 この教科書は主にどんな力を伸ばすために使っていますか。

2-2 この教科書を使ってみて、良いと思う点はどんなところですか。

A: 生徒のレベルに合っている B: 生徒の好みに合っている C: 学習目標と合っている

D: 量がちょうどいい E: 練習問題がよくできている F: 教えやすい G: その他

2-3 この教科書の満足度を数字で表すと何%ぐらいですか。

2-4 この教科書で満足できない点はどんなところですか。

a: 全体的に量が多すぎる b: 全体的に量が少なすぎる c: 練習問題の量が多すぎる

d: 練習問題の量が少なすぎる e: 口答練習の問題が足りない f: 読み書きの問題が足りない

g: ローマ字がついていない h: 漢字のふりがながよくない i: シラバス(学習項目の配列の仕方)が合わない

j: 教え方がわかりにくい k: とり上げている語彙や主題が合わない l: 生徒のレベルに合わない

m: 授業の準備がしにくい n: 生徒が好まない o: 付属教材が少ない p: 手に入りにくい q: 高い r: その他

国名	2-1				2-2							2-3	2-4																			
	読む力	書く力	話す力	聞く力	A	B	C	D	E	F	G	満足度	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r		
アルゼンティン																																
ブエノス・アイレス日亜学院	○	○					○					50%				○															○	
満足点 G: その他の内容												不満足点 R: その他の内容																				

みどりせんせいのたのしいにほんご

3. 教授者

3-1 この教科書を使っている教師は何人いますか。またその内訳は。

3-2 では、その教師の中で、日本語教育の専門研修を受けた人は何人いますか。

それはどんな研修ですか。

A: JICAの汎米研修 B: JICAの日本語教師研修 C: 国際交流基金の日本語教師研修 D: その他

3-3 先生たちの日本語教育経験はどのくらいですか。

国名	3-1						3-2				3-3	
	全教師数	使用教師数	教師1世	教師2、3世	シニア	青年	研修歴	A	B	C	D	教育経験
アルゼンティン												
ブエノス・アイレス日亜学院	19名	3名	0名	3名	0名	0名	1名					1年~8年
	その他の内容											

みどりせんせいのたのしいにほんご

5. 教科書の選択と関連性

5-1 使う教科書はどうやって選ぶのですか。

A: 教師が選ぶ B: 担任が選ぶ C: 相談して選ぶ D: 学校が決める E: その他

5-2 この教科書が選ばれた理由は何ですか。

5-3 この教科書はこの学校でどのくらいの期間使われていますか。

5-4 この教科書が終わった生徒には、次にどんな教材を使いますか。

5-5 この教科書に入る前に生徒は、どんな教材を使って勉強しましたか。

		5-1					5-2	5-3	5-4		5-5
国名	学校名	A	B	C	D	E	理由	期間	次に進む教材名	未定	前に使った教材名
									著者・出版社		著者出版社
アルゼンティン				○			文型が整理されている	4年	自主教材		自主教材
ブエノス・アイレス日亜学院		その他の内容									

みどりせんせいのたのしいほんご

『一、二、三、日本語ではなしましょう』

(0)はじめに

改訂『一、二、三、日本語ではなしましょう』（以下、『一、二、三』）はブラジル サン・パウロの日本語普及センターが、1990年（初版は1986年）から出版しているブラジルの年少者向け初級日本語教科書である。本教材の特徴は絵を多用していることである。絵が単に挿絵にとどまるのではなく、いわば吹き出しのない漫画のように場面やストーリー（本文の内容）を表し、クラスにおいて、学習者に本文を暗唱させるキューの役割を持っている。特にシリーズの1は徹底しており、タイトル以外には文字は出てこない。また、2・3においては本教材編集時にJICA派遣日本語指導教師として指導に当たった江副隆秀氏（新宿日本語学校校長）の発案でいわゆる重箱文法式教授法（日本語の統語構造を図解によって教えるもの）が取り入れられている。

最初に述べたように『一、二、三』は、本来ブラジルの年少者向け初級日本語教科書であるにもかかわらず、概況調査においては回答を寄せた56校中12校で使われている。これはかなりの使用率といえよう。詳細調査においてはそのうちの2校より回答が得られているので、それを資料として分析を試みることにする。

(1)対象者の特性と本教材

2校のうちマラカイボ日本人会付属日本語学校（以下マラカイボ校）は日本語力ほぼ0の生徒に使用している。使用教科書は『一、二、三』の1と思われるが、単語レベルまたは基本的な文型の暗唱に用いている。年齢が6才ということから、絵の多い本教材が子供たちにとってなじみやすいであろうことは想像に難くない。もう1校のサンタ・クルス日本語普及校（以下サンタ・クルス校）はもう少し上の年齢で、しかも日本語力の差が大きい生徒に対して（逆に言えばクラスをリードしてくれる生徒がいるという状況で）使用している。カリキュラムによるとこちらも『一、二、三』の1を使用しているが、これと国語教科書の併用（教育出版1年）で『一、二、三』はもっぱら文型の導入・会話練習に用いられている。

(2)教授者の考え方と本教材

マラカイボ校ではもっぱら絵を見て状況が理解できる点を本教材選択の理由としてあげている。反対に読み書きの問題が足りないという点を不満としてあげているが、そもそも本教材は製作者が、生徒に字を読ませないよう意図的に文字を排除したものであり、本教材を主教材とするかぎり、読み書きのためには他の教材によるべきであろう。

サンタ・クルス校では話す力とともに書く力も伸ばすために使用しているという。しかし、『一、二、三』でも3では各課の会話部分は常体、最後のまとめは敬体（丁寧体）と文体が使い分けられており、後者が書き言葉との手本として使えるともいえるが、1ではどうすれば書くための教材として使えるのであろうか。それに関して、『一、二、三』に対する読み書きの量が少ないという不満は、マラカイボ校と同じく、本教材がまずもって会話主体の教科書として作られたことから、少々酷な注文といえる。だからこそその国語教科書との併用なのではないだろうか。

(3)学校の方針と本教材

マラカイボ校では決まったカリキュラムはなく、教師が選ぶことになっている。また、この教科書が終わった後の教材についても決まっていないという。後の教材については、カリキュラムが決まっているはずのサンタ・クルス校も同じ回答であった。計画性・継続性という点から問題ありといえる。ただ、これは学校の方針と教材との関連（適切さ）の問題ではない。学校の方針すなわち目標設定と方法の選択が明確でない以上、それと本教材との関連（適切さ）を論ずることはできない。まず、具体的な学校の方針を立てることが必要であろう。

(4)教室活動と本教材

マラカイボ校では本文会話を覚えさせている。これは『一、二、三』の本来の方法であるが会話をさせているということの実態が気になる。覚えた文の暗唱をもって『会話』と称することがままあり、ドリル等の教室活動を通して自己表現としての発話にまで到達しえているのか知りたいところである。

サンタ・クルス校については本文等を読ませる・書かせるという回答が気にかかる。『一、二、三』の1を使う以上このようなことはできないはずであり、教師が本文を板書するのか、あるいは併用の国語教科書のことを指しているのか、資料からでは読み取れない。ただ、いわゆる教室活動（日本語教育における）とは異なったものであろうとは推測できる。

(5)考察

最初に述べたように『一、二、三』は絵をもつぱらキューとして使用する教科書であり、その運用は、教師のドリル等の教室活動に負うところが大きい。ただ単に絵があるから、なじみやすいからというだけでは、主教材として使いこなし切れない面があることは否定できないであろう。本文会話を暗唱させ、さらに使えるようにするためには、教師に直接法による教授法の基礎がなければならぬ。ここでは、中南米における児童・生徒に対する直接法採用の可否についての議論はおいでも、とにかく、余り訓練を受けていない教師でもそこそこ使える—効果が見込める—ということが中南米日本語教科書の重要なポイントのひとつになるということは言えるであろう。また、『一、二、三』は本文会話主体ということからも、読み書きは別の教材に譲らざるを得ないが、これも、理想はともかく現地事情としてはオール・イン・ワン型の教科書（いわゆる複式授業にも対応できるように、会話本文だけでなく例文、説明、練習、新出語訳、文字練習、さらには読解・作文練習等まで一冊に納められているもの）が望まれるところであろう。

アンケート内容及び集計結果

1. 対象

- 1-1 この教科書を使っているクラスはいくつありますか。
- 1-2 そのクラスはどんなクラスですか。
- 1-3 そのクラスの生徒たちはいつもどんな場面で日本語を使っていますか。
- 1-4 そのクラスの生徒たちの日本語のレベルはどのくらいですか。

文字を読む力

- A: 漢字がよく読める(100字以上) B: 漢字が少し読める(100字未満)
- C: かなが読める

読解力

- A: 上級程度 B: 中級程度 C: 初級程度

書く力

- A: 報告書や感想文等いろいろな文が書ける B: 短い作文が書ける C: 簡単な文が書ける
- D: 単語が書ける

話す力

- A: 普段の生活に不便はない B: 簡単な文を並べて何とか伝える C: 単語や挨拶程度

聴解力

- A: 普段の生活に不便はない B: 家庭で使うことばがわかる C: 習ったことのある簡単な文がわかる
- D: 単語や挨拶程度

教師の指示

- A: 日本語だけでわかる B: 簡単な日本語ならわかる C: スペイン語がないとわからない

国名	1-1 使用 クラス数	1-2						1-3 家庭 学校 それ 以外	1-4						
		クラ ス名	生 徒 数	年 齢	学 年	学 習 歴	能 力 差		文字 を読 む力 A B C	読解力 日本の 学校の 教科書 で A B C	書く 力 A B C D	話す 力 A B C	聴解 力 A B C D	教師 の指 示 A B C	
ボリビア	2	2組	8名	8~ 10歳	1~3 年生	3~4 年	大 き な 差 が あ る	3名	0%	1年生	70%	0%	0%	0%	30%
サンタ・クルス 日本語普及校	7							5名	70%			0%	70%	30%	0%
ヴェネズエラ	1	初級	3名	6歳	1年生	0~1 年	あ ま り な い	0名	0%			0%	0%	0%	0%
7カ国日本人会 付属日本語学校	5							3名	0%			0%	0%	0%	0%
								0名	100%			100%	100%	100%	100%

一、二、三、にほんごではなましよう

2. 使用目的と評価

2-1 この教科書は主にどんな力を伸ばすために使っていますか。

2-2 この教科書を使って、良いと思う点はどんなところですか。

- A: 生徒のレベルに合っている B: 生徒の好みに合っている C: 学習目標と合っている
D: 量がちょうどいい E: 練習問題がよくできている F: 教えやすい G: その他

2-3 この教科書の満足度を数字で表すと何%ぐらいですか。

2-4 この教科書で満足できない点はどんなところですか。

- a: 全体的に量が多すぎる b: 全体的に量が少なすぎる c: 練習問題の量が多すぎる
d: 練習問題の量が少なすぎる e: 口答練習の問題が足りない f: 読み書きの問題が足りない
g: ローマ字がついていない h: 漢字のふりがながよくない i: シラバス(学習項目の配列の仕方)が合わない
j: 教え方がわかりにくい k: とり上げている語彙や主題が合わない l: 生徒のレベルに合わない
m: 授業の準備がしにくい n: 生徒が好まない o: 付属教材が少ない p: 手に入りにくい q: 高い r: その他

国名 学校名	2-1				2-2				2-3	2-4																					
	読む力	書く力	話す力	聞く力	A	B	C	D	E	F	G	満足度	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	
ボリビア																															
サンタ・クルス 日本語普及校	○	○		○					○							○	○				○				○		○				
満足点 G:その他の内容												不満足点 R:その他の内容																			
ヴェネズエラ																															
アカイ日本人会 付属日本語学校		○	○	○								80%													○					○	
満足点 G:その他の内容												不満足点 R:その他の内容																			

一、二、三、にほんごではなしましょう

3. 教授者

3-1 この教科書を使っている教師は何人いますか。またその内訳は。

3-2 では、その教師の中で、日本語教育の専門研修を受けた人は何人いますか。

それはどんな研修ですか。

- A: JICAの汎米研修 B: JICAの日本語教師研修 C: 国際交流基金の日本語教師研修 D: その他

3-3 先生たちの日本語教育経験はどのくらいですか。

国名 学校名	3-1						3-2				3-3	
	全教師数	使用教師数	教師1世	教師2、3世	シニア	青年	研修歴	A	B	C	D	教育経験
ボリビア												
サンタ・クルス 日本語普及校	7名	2名	1名	1名	0名	0名	6名	○	○	○		1年~28年
満足点 G:その他の内容												
ヴェネズエラ												
アカイ日本人会 付属日本語学校	5名	1名	1名	0名	0名	0名	0名					5年4ヶ月
満足点 G:その他の内容												

一、二、三、にほんごではなしましょう

4. 教室活動

4-1 よくする活動を選んでください。

本文や会話を

- A: 読み聞かせる B: 読ませる C: 訳させる D: 書かせる E: 覚えさせる F: 会話させる
G: 演じさせる H: その他

新しい文型を

- a: 読ませる b: 訳させる c: 話させる d: 書かせる e: 覚えさせる f: その他

新しいことばを

- あ: 読ませる い: 訳させる う: 話させる え: 書かせる お: 覚えさせる か: その他

新しい漢字を

- ア: 読ませる イ: 書かせる ウ: 覚えさせる エ: その他

絵・音楽・体の活動

- 1: 絵を書く 2: 歌を歌う 3: 踊る 4: 工作する 5: 紙芝居 6: ゲーム 7: スポーツ
8: 活動その他 9: しない

		4-1																																
国名	本文や会話							新しい文型					新しいことば			新しい漢字			絵・音楽・体の活動															
学校名	A	B	C	D	E	F	G	H	a	b	c	d	e	f	あ	い	う	え	お	か	アイ	ウ	エ	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
ポリヴィア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
サンタ・クルス 日本語普及校	H: その他の内容							f: その他の内容					エ: その他の内容			9: その他			9: その他の内容															
ヴェネズエラ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
アカイ日本人会 付属日本語学校	H: その他の内容							f: その他の内容					エ: その他の内容			9: その他			9: その他の内容															

一、二、三、にはんごではなしましょう

4-2 どんな形態で活動しますか。

4-3 この教科書を使うとき、どんな補助教材・教具を使いますか。

- A: テープ B: ビデオ C: 絵カード D: 文字カード E: ドリル帳 F: その他

4-4 スペイン語を使いますか。

		4-2					4-3						4-4	
国名	一斉授業	グループ・ペア	個別授業	その他の形		複式授業	補助教材						スペイン語	
学校名							A	B	C	D	E	F		
ポリヴィア							<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
サンタ・クルス 日本語普及校	いつも	しない	しない			ときどき	F: その他の内容						ときどき使う	
ヴェネズエラ							<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
アカイ日本人会 付属日本語学校	いつも						F: その他の内容						ときどき使う	

一、二、三、にはんごではなしましょう

5. 教科書の選択と関連性

5-1 使う教科書はどうやって選ぶのですか。

A: 教師が選ぶ B: 担任が選ぶ C: 相談して選ぶ D: 学校が決める E: その他

5-2 この教科書が選ばれた理由は何ですか。

5-3 この教科書はこの学校でどのくらいの期間使われていますか。

5-4 この教科書が終わった生徒には、次にどんな教材を使いますか。

5-5 この教科書に入る前に生徒は、どんな教材を使って勉強しましたか。

国名	5-1					理由	5-3 期間	5-4		5-5 前に使った教材名 著者出版社
	A	B	C	D	E			次に進む教材名	未定	
学校名								著者・出版社		著者出版社
ボリヴィア	<input type="radio"/>					当校の生徒に適しているから	1年			
サンタ・クルス 日本語普及校	その他の内容								<input type="radio"/>	
ヴェネズエラ	<input type="radio"/>					絵を見てその状態が理解できる	8年			
ワカバ日本人会 付属日本語学校	その他の内容								<input type="radio"/>	

一、二、三、にほんごではなしましょう

『日墨学院にほんご』

(0)はじめに

『日墨学院にほんご』は日墨学院（日本メキシコ学院 LICEO MEXICANO JAPONES）が自校での日本語教育用に開発した児童向け日本語教科書である。同校は日西語のバイリンガル教育で南米のみならず日本でも以前より知られた学校である。

当然のことながら本教材は学内向けの教科書であり、同校のカリキュラムにしたがって使用されることを前提としているし、また本稿は教科書分析がその目的ではないので、以下は今回の考察に必要な限りでの教科書の印象である。

『日墨学院にほんご』はいわゆる基本文型を課ごとに提示していくが、いわゆる文型積み上げ方式ではなく、いわば文型塗り重ね方式とでも言うべきスイッチ・バック型の教科書である。そのためか、文法事項の提出は極めてゆっくりであり、1年から6年までの6冊シリーズ中でタ形が出てくるのが3年、否定形が5年（形容詞のみ、動詞は明示的にはついに出てこない）、タイ形、テ形が6年である。そのせい（理由？）か、文型の後に続く練習はほとんどといっていいくらいWH疑問文（そうでない場合も選択疑問文）の問いに対して答えさせる形式である。このことは『日墨学院にほんご』の最も大きな特徴といっていであらう。他には各課ごとに新出語の西語訳があり、また各冊の巻末には日本の歌や絵描き歌が集められている。

(1)対象者の特性と本教材

『日墨学院にほんご』を使用しているのは基礎調査でも対象56校中1校だけであった。その1校であるペルーのいちご文化協会日本語学校（以下いちご文教）もたまたま日墨学院に知人がいて、教科書を紹介してもらったことが使用の理由と回答している。

いちご文教は全部でクラス数14の規模であるがそのうち5クラスで『日墨学院にほんご』を使用している。子供クラス（16才以下）のクラスが7クラスということからその半分以上のクラスで使われていることになる。回答はそのうちの1クラスについてのものなので全体のレベル等はわからない。回答のあったのは7才から10才の12名のクラスについてのものだが、教師の簡単な日本語の指示のわかるものが20%ということから、単語レベルの日本語力のクラスと考えられる。そのレベルの児童にとっては文型方式の教科書はそのままでは退屈であらう。教科書の素材をどのように広げていくか、これはすなわち教師の教室活動と関連してくるので(4)であらためて検討することにする。

(2)教授者の考え方と本教材

いちご文教の回答によると、『日墨学院にほんご』を選んだ理由は知人の紹介であり、満足している点は「生徒のレベルにあっている」ところだということである。ところが、一方で、不満な点として「生徒が好まない」という理由が挙げられているが、これは看過できない重大な点と考えられる。すなわち生徒のレベルとは誰が何を基準にして測るものかという問題である。議論を避け、

百歩譲って教師主体としても、「生徒が好まない」ということはレベルがあっていないといえなくはないだろうか。他に「量が多過ぎる」というのは、元来が特定の学校用の教材である以上仕方のないことであるが、それよりも大きい理由として日墨学院といちご文教の授業時間数に相当の違いがあることが考えられるので教授項目の整理と取捨選択は避けられないところであろう。「読み書きの問題が適当でない」、「口答練習の問題が足りない」という点は(4)で取り上げたい。

(3)学校の方針と本教材

いちご文教では決まったカリキュラムはなく、教科書は会議で相談して教師が選ぶことになっている。また、この教科書を使用して8年目ということだが、次の教材についても決まっていないという。「一、二、三」の項でも述べたことだが、教育の計画性・継続性という点から問題とはいえ、このことは学校の方針と教材との関連（適切さ）の問題ではない。

(4)教室活動と本教材

いちご文教では本文（ここでは「ぶんけい」・「かいわ」）を読み聞かせ、覚えさせているとのことである。そこには、聞く、話すというトレーニングが見えず、当然いわゆるドリル等の教室活動も見えてこない。総じて「日墨学院にほんご」を国語教科書風に使用しているという印象を受ける。「口答練習の問題が足りない」という不満は、口答練習がたとえ教科書に印刷されていても本来それを読むべきものではなく、またそもそも教師が作るのものであるということを踏まえてのものであろうか。気にかかるところである。もうひとつの「読み書きの問題が適当でない」点も教科書のどの部分を指しているのか資料だけでは不明確である。

(5)考察

「一、二、三」以上に「日墨学院にほんご」を他の日本語学校で使うことは多くの困難を伴うと思われる。それはたとえて言えば、他人のオーダーメイドの服を無理をして着ようとするに等しいことである。「日墨学院にほんご」は一風変わった文型方式なのでよけいにその感が強い。各校の先生方の教材選びのご苦労は重々承知のつもりではあるが、ここまでの記述で、調査に協力して下さった学校に対し批判めいたことを書き連ねたように見えたとしたら表現力の不足をおわびするしかない。以下、「一、二、三」の考察後半と同じことなので、重ねては書かないが、例えついでに別の表現をもってすれば、多少の手直しが必要とはいえ、軽くて着やすい既製服（イージー・オーダーであればもっとよいが）の一刻も早い開発が待たれるということである。

アンケート内容及び集計結果

1. 対象

- 1-1 この教科書を使っているクラスはいくつありますか。
- 1-2 そのクラスはどんなクラスですか。
- 1-3 そのクラスの生徒たちはいつもどんな場面で日本語を使っていますか。
- 1-4 そのクラスの生徒たちの日本語のレベルはどのくらいですか。

文字を読む力

- A: 漢字がよく読める(100字以上) B: 漢字が少し読める(100字未満)
- C: かなが読める

読解力

- A: 上級程度 B: 中級程度 C: 初級程度

書く力

- A: 報告書や感想文等いろいろな文が書ける B: 短い作文が書ける C: 簡単な文が書ける
- D: 単語が書ける

話す力

- A: 普段の生活に不便はない B: 簡単な文を並べて何とか伝える C: 単語や挨拶程度

聴解力

- A: 普段の生活に不便はない B: 家庭で使うことばがわかる C: 習ったことのある簡単な文がわかる
- D: 単語や挨拶程度

教師の指示

- A: 日本語だけでわかる B: 簡単な日本語ならわかる C: スペイン語がないとわからない

国名	1-1	1-2						1-3	1-4							
	使用クラス数	クラス名	生徒数	年齢	学年	学習歴	能力差	家庭 学校 それ 以外	文字を 読む力 A B C	読解力		書く 力 A B C D	話す 力 A B C	聴解 力 A B C D	教師 の指 示 A B C	
学校名	全クラス数									日本の 学校の 教科書 で	A B C					
ペルー	5	B組	12名	7~ 10歳	2~4 年生	1年	少し ある	1名	0%	1年生	90%	0%	0%	0%	0%	
いちご文化協会	14							0名	20%	2年生	10%	0%	10%	0%	20%	20%
日本語学校								0名	80%			90%	90%	80%	80%	

日墨学院にほんご

2. 使用目的と評価

2-1 この教科書は主にどんな力を伸ばすために使っていますか。

2-2 この教科書を使って、良いと思う点はどんなところですか。

A: 生徒のレベルに合っている B: 生徒の好みに合っている C: 学習目標と合っている

D: 量がちょうどいい E: 練習問題がよくできている F: 教えやすい G: その他

2-3 この教科書の満足度を数字で表すと何%ぐらいですか。

2-4 この教科書で満足できない点はどんなところですか。

a: 全体的に量が多すぎる b: 全体的に量が少なすぎる c: 練習問題の量が多すぎる

d: 練習問題の量が少なすぎる e: 口答練習の問題が足りない f: 読み書きの問題が足りない

g: ローマ字がついていない h: 漢字のふりがながよくない i: シラバス(学習項目の配列の仕方)が合わない

j: 教え方がわかりにくい k: とり上げている語彙や主題が合わない l: 生徒のレベルに合わない

m: 授業の準備がしにくい n: 生徒が好まない o: 付属教材が少ない p: 手に入りにくい q: 高い r: その他

国名	2-1				2-2							2-3	2-4																			
	読む力	書く力	話す力	聞く力	A	B	C	D	E	F	G	満足度	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r		
学校名																																
レベル																																
いちご文化協会 日本語学校			○	○	○								○																			○
満足点 G: その他の内容												不満足点 R: その他の内容	読み書きの問題が適当でない																			

日墨学院にほんご

3. 教授者

3-1 この教科書を使っている教師は何人いますか。またその内訳は。

3-2 では、その教師の中で、日本語教育の専門研修を受けた人は何人いますか。

それはどんな研修ですか。

A: JICA の汎米研修 B: JICA の日本語教師研修 C: 国際交流基金の日本語教師研修 D: その他

3-3 先生たちの日本語教育経験はどのくらいですか。

国名	3-1							3-2				3-3
	全教師数	使用教師数	教師1世	教師2、3世	シニア	青年	研修歴	A	B	C	D	教育経験
学校名								その他				
レベル								○	○	○		
いちご文化協会 日本語学校	11名	5名	5名	0名	0名	0名	3名	その他の内容				8年~15年

日墨学院にほんご

4. 教室活動

4-1 よくする活動を選んでください。

本文や会話を

- A: 読み聞かせる B: 読ませる C: 訳させる D: 書かせる E: 覚えさせる F: 会話させる
G: 演じさせる H: その他

新しい文型を

- a: 読ませる b: 訳させる c: 話させる d: 書かせる e: 覚えさせる f: その他

新しいことばを

- あ: 読ませる い: 訳させる う: 話させる え: 書かせる お: 覚えさせる か: その他

新しい漢字を

- ア: 読ませる イ: 書かせる ウ: 覚えさせる エ: その他

絵・音楽・体の活動

- 1: 絵を書く 2: 歌を歌う 3: 踊る 4: 工作する 5: 紙芝居 6: ゲーム 7: スポーツ
8: 活動その他 9: しない

4-1																																		
国名	本文や会話								新しい文型						新しいことば			新しい漢字			絵・音楽・体の活動													
学校名	A	B	C	D	E	F	G	H	a	b	c	d	e	f	あ	い	う	え	お	か	ア	イ	ウ	エ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ペルー	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>				<input type="radio"/>							<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>								<input type="radio"/>	
いちご文化協会 日本語学校	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容													

日墨学院にほんご

4-2 どんな形態で活動しますか。

4-3 この教科書を使うとき、どんな補助教材・教具を使いますか。

- A: テープ B: ビデオ C: 絵カード D: 文字カード E: ドリル帳 F: その他

4-4 スペイン語を使いますか。

4-2										4-3						4-4	
国名	一斉授業	グループ・ペア	個別授業	その他の形			複式授業	補助教材						スペイン語			
学校名								A	B	C	D	E	F				
ペルー								<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>						
いちご文化協会 日本語学校	いつも	ときどき						F:その他の内容						ときどき使う			

日墨学院にほんご

5. 教科書の選択と関連性

5-1 使う教科書はどうやって選ぶのですか。

A: 教師が選ぶ B: 担任が選ぶ C: 相談して選ぶ D: 学校が決める E: その他

5-2 この教科書が選ばれた理由は何ですか。

5-3 この教科書はこの学校でどのくらいの期間使われていますか。

5-4 この教科書が終わった生徒には、次にどんな教材を使いますか。

5-5 この教科書に入る前に生徒は、どんな教材を使って勉強しましたか。

		5-1					5-2	5-3	5-4		5-5
国名	学校名	A	B	C	D	E	理由	期間	次に進む教材名	未定	前に使った教材名
									著者・出版社		著者出版社
ペルー				○			日墨学院の知人の紹介	8年		○	
いちご文化協会 日本語学校		その他の内容									

日墨学院にほんご

3-2-5 日本出版の成人向け日本語教材

『新日本語の基礎』

(0)はじめに

「新日本語の基礎」(1990-1995 海外技術者研修協会編、スリーエーネットワーク発行)は、教科書本冊に、漢字かなまじり版とローマ字版がある。文型を最重要視し、語彙を必要最小限に抑えている点、11ヶ国語に翻訳された分冊と文法解説書が用意されている点はその大きな特徴である。

今回基礎調査に回答した56校のうち、本教材を使用しているという学校は19校であった。以下はそのうち5校について本教材関連の2次調査を行った結果をまとめ、考察したものである。

(1)対象者の特性と本教材

対象となっている学習者は小学校高学年から中学生、そして成人までと幅広い。基本的に文法整理能力が備わっていると思われる年齢である。また、いずれも数年間の学習歴を持っている学習者に対して使用されている点からすると、文法整理を図りながらの基礎日本語力養成がその目的として考えられる。

学習者の日本語使用に関しては、「学校で使用している」という回答が「家庭で使用している」を圧倒している。

漢字の読みについては、例えば中学生であれば小学校時代からの日本語学習を継続しているものと思われるが、その識字率は90%以上が100字未満という回答である。

週当たりの学習時間数はかなり少なく、また、日系人といえどもそのほとんどが現地化の進んだ学習者たちだと想像できる。

読解力については、初級～上級という日本語教育水準でなく、日本の小学校の教科書の学年で回答している。小学国語課程では、学年別配当漢字が具体的に設定されているので回答しやすいのであろう。

本教材は10年ほど前から存在しているものだが、使用年数に関する情報からすると、まだ充分には使い込まれていない学校も少なからずありそうである。日本語教育用教科書の情報も一般的に不十分なのであろう。このような状況から、教師が日本語教育用教科書で指導を行いながらも、その意識において国語教育から脱皮しきれていない部分があることも想像に難くない。

書く力においては、「簡単な文が書ける」あるいは「短い作文が書ける」のいずれかの回答が多かった。

話す力では、「単語や挨拶程度」から「簡単な文を並べて何とか伝える」という程度がほとんどのようだ。これも、限られた学習時間、限られた日本語運用状況を反映していると言える。

聴解力においては、「単語や挨拶程度」、「習ったことのある簡単な文がわかる」という回答、「家庭で使う言葉がわかる」という回答が多いようだ。

この結果からは半数以上が「せいぜい習ったものしかわからない」という、現地化した日系人を反映している一方、逆に半数近くは「少なくとも家庭で使う言葉がわかる」としており、上記の日

本語を家庭で使用している学習者は少ないという結果とは矛盾しているようだが、生活環境で日本語を耳にする機会が必ずしも少なくない様子を物語っている。

教師の指示の理解度については、「簡単な日本語ならわかる」がいちばん多かったが、「スペイン語がないとわからない」も多く、「日本語だけでわかる」は最も少なかった。

「日本語だけでわかる」が0%、すなわち、日本語だけでわかる生徒がいないと回答した学校が1校あったが、その学校では「漢字がよく読める」が30%、「報告書や感想文などいろいろな文が書ける」、「普段の生活に不便なく話せる」、「普段の生活に不便なく聞ける」がそれぞれ20%ずつと回答している。教師の求める日本語理解の水準が高いのであろうか。

(2)教授者の考え方と本教材

教材の評価については、傾向といえるほどの結果は見られないが、満足点、不満点として以下のような回答があった。

まず、満足している点としては、使用目的に「話す」を選んでいる2校において「学習目標と合っている」、また、同様に「読み」「書き」を選んでいる3校において、「練習問題がよくできている」などである。

不満点としては、「口頭練習の問題が足りない」「生徒のレベルに合わない」「漢字のふりがながよくない」という回答が2校ずつから、「とりあげている語彙や主題が合わない」については3校から、それぞれ挙げられている。

このうち漢字及び語彙や主題の問題については、本来日本語を母語としない技術研修生のために作られた教科書であるということを考えれば当然のことであるが、たとえ、より一般向けに作られた教科書であっても語彙やテーマ、また口頭練習用の問題においても、それぞれの学習者に合わせて修正しながら利用するというのは非常に基本的なことではないだろうか。

ちなみに、本教材全般の満足度50%と回答した学校では独自の修正を加えた後は85%となっている。その主な修正点は、「語彙」「漢字配分」「漢字練習」「漢字ふりがな」とのことである。

この結果一つを見ても、修正しながらの使用は必要不可欠であることがわかる。ただ、漢字というものが相変わらず関心の中心として見うけられる点からは、会話力が必ずしも充分でない学習者に対する教師の意識にも改革の余地があると考えられる。

(3)学校の方針と本教材

日本語の力を伸ばすこと以外の教育目的について、「日本文化に対する理解を深める」と5校すべてが回答、「日系人としての自信を持たせる」と3校が回答している。

また、求められる教科書については、全5校において「子供の興味を引く教材」、「話せるようになる教材」、「日本の文化も身に付けられるような教材」と共通に回答されている。

以上の回答と「新日本語の基礎」との関連だが、「話せるようになる教材」という視点で選ばれているものと想像される。

(4)教室活動と本教材

本文や会話については、4校において「読ませる」「覚えさせる」「会話させる」、3校において「演じさせる」としている。新しい文型については、4校において「読ませる」「覚えさせる」、3校において「書かせる」としている。新しい言葉、新しい漢字についても、4校において「読ませる」「書かせる」「覚えさせる」としている。

これらのことから、骨組み的な要素は「書かせて覚えさせる」、応用的なものは「使わせて身につけさせる」、ということと推測されるが、実態は定かではない。

また、絵・音楽・体の活動については、3つ以上の活動を取り入れている学校が3校あったが、一方、何も取り入れていない学校も2校ある。3校で共通して取り入れられている活動は「ゲーム」とのことだが、具体的にはどんなことを行っているのだろうか。

教授形態については、基本的には「一斉授業」だが、3校においては必要に応じて「個別授業」「複式授業」も行われているようだ。補助教材・教具については「テープ」「ビデオ」「絵カード」「文字カード」など、4種類以上使用しているという学校が3校あるが、一方で、まったく使用しないという学校が1校あった。この学校では、本教科書の使用目的が「読み」「書き」のみとなっている。

また、スペイン語を「よく使う」という回答が2校から、「ときどき使う」という回答が3校からあった。つまり、多かれ少なかれ、スペイン語を使用しているということである。これは他の学校でも同様の状況であろう。

(5)考察

日系社会の日本語学校に通う日系子弟といえども、家庭では日本語を使わなくなっている場合が多く、「話せなくなっている」と判断されていることがわかる。そして、日本語教材としては、「会話力養成」に役立つものが求められるわけだが、一方、「読み書き能力の養成」も学校として力を入れたいところのようだ。さらに、「日本文化を身に付けさせる」、「日系人としての自信を持たせる」という精神的な教育というものも各校の方針として伺われるところだ。

ただ、今回の調査では5年以上学習していても漢字の読みは100字未満というように、目的が達せられていないのではないかと結果も見うけられる。これは、会話力の養成が効率的に行われていないということに起因しているのではないだろうか。

「新日本語の基礎」の使用年数はまだせいぜい2、3年という回答からも、教授法が完成していないであろうことが考えられる。日系人の精神的な部分は、教材が何であれ、変わらず掲げられているものであろうが、現地化した子供たちへの日本語教育となれば、場合によっては押し付けにもなりかねず、日本語力養成のマイナス材料にならぬようにという配慮は、今後、より必要になってくるであろう。

アンケート内容及び集計結果

1. 対象

- 1-1 この教科書を使っているクラスはいくつありますか。
- 1-2 そのクラスはどんなクラスですか。
- 1-3 そのクラスの生徒たちはいつもどんな場面で日本語を使っていますか。
- 1-4 そのクラスの生徒たちの日本語のレベルはどのくらいですか。

文字を読む力

- A: 漢字がよく読める(100字以上) B: 漢字が少し読める(100字未満)
- C: かなが読める

読解力

- A: 上級程度 B: 中級程度 C: 初級程度

書く力

- A: 報告書や感想文等いろいろな文が書ける B: 短い作文が書ける C: 簡単な文が書ける
- D: 単語が書ける

話す力

- A: 普段の生活に不便はない B: 簡単な文を並べて何とか伝える C: 単語や挨拶程度

聴解力

- A: 普段の生活に不便はない B: 家庭で使うことばがわかる C: 習ったことのある簡単な文がわかる
- D: 単語や挨拶程度

教師の指示

- A: 日本語だけでわかる B: 簡単な日本語ならわかる C: スペイン語がないとわからない

国名	使用クラス数	1-2						1-3	1-4							
		クラス名	生徒数	年齢	学年	学習歴	能力差		家庭学校 それ以外	文字を読む力 A B C	読解力		書く力 A B C D	話す力 A B C	聴解力 A B C D	教師の指示 A B C
											日本の学校の教科書で	A B C				
学校名	全クラス数															
アルゼンティン	2	中学校	12名	13~14歳	中学1年生	6~8年	大きな差がある	3名	30%	2年生	70%		0%	0%	10%	70%
ブルサコ日本語学園	1							2名	70%	3年生	30%	30%	70%	70%	20%	30%
	9							0名	0%			0%	30%	10%	0%	
コロンビア	3	5学級	8名	11~14歳	4~6年生	5~8年	少しある	0名	0%	2年生	80%		0%	0%	0%	10%
加パリア日系人協会付属日本語学校	6							8名	10%	3年生	20%	20%	70%	30%	50%	50%
								0名	90%			10%	70%	30%	40%	
ドミニカ (共)	3	3年後期	10	10~12歳		6~7年	少しある	1名	0%	1年生	90%		0%	0%	10%	10%
サント・ドミンゴ校	7							10名	80%	2年生	10%	60%	20%	30%	70%	70%
								0名	20%			20%	70%	20%	20%	
ボリビア	2	2期、5期	10名	21~48歳		1~2年	大きな差がある	2名	30%	1年生	70%	0%	10%	0%	0%	20%
サンタ・クルス日本語普及校	4							8名	70%	2年生	20%	20%	70%	30%	30%	10%
								0名	0%	3年生	10%	100%	0%	70%	70%	70%
メキシコ	11	成人クラス 中級3	6名	12~24歳	6年生~成人	1年6ヶ月~5年	少しある	0名	30%			0%	30%	30%	20%	0%
グアダラハラ日墨文化学院	16							6名	70%			0%	70%	70%	80%	80%
								0名	0%			100%	0%	0%	0%	0%

2. 使用目的と評価

2-1 この教科書は主にどんな力を伸ばすために使っていますか。

2-2 この教科書を使って、良いと思う点はどんなところですか。

- A: 生徒のレベルに合っている B: 生徒の好みに合っている C: 学習目標と合っている
- D: 量がちょうどいい E: 練習問題がよくできている F: 教えやすい G: その他

2-3 この教科書の満足度を数字で表すと何%ぐらいですか。

2-4 この教科書で満足できない点はどんなところですか。

- a: 全体的に量が多すぎる b: 全体的に量が少なすぎる c: 練習問題の量が多すぎる
- d: 練習問題の量が少なすぎる e: 口答練習の問題が足りない f: 読み書きの問題が足りない
- g: ローマ字がついていない h: 漢字のふりがながよくない i: シラバス(学習項目の配列の仕方)が合わない
- j: 教え方がわかりにくい k: とり上げている語彙や主題が合わない l: 生徒のレベルに合わない
- m: 授業の準備がしにくい n: 生徒が好まない o: 付属教材が少ない p: 手に入りにくい q: 高い r: その他

国名	2-1			2-2				2-3	2-4																					
	読む力	書く力	聞く力	A	B	C	D	E	F	G	満足度	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	
アルゼンティン																														
ブルサコ日本語学園		○	○	○		○															○						○			
満足点 G:その他の内容											不満足点 R:その他の内容																			
コロンビア																														
コロンビア日系人協会付属日本語学校	○	○	○			○	○	○			70%					○												○		○
満足点 G:その他の内容	教科書の検討も必要										不満足点 R:その他の内容	既習の漢字にも仮名が振ってある																		
ドミニカ(共)																														
サント・ドミンゴ校		○														○										○	○		○	
満足点 G:その他の内容	適当ではないので、オリジナルの教材を作成、使用している										不満足点 R:その他の内容																			
ボリビア																														
サンタ・クルス日本語普及校	○	○						○	○		60%		○		○												○		○	○
満足点 G:その他の内容											不満足点 R:その他の内容																			
メキシコ																														
グアダラハラ日墨文化学院	○	○		○				○	○	○	50%										○					○				○
満足点 G:その他の内容	ビデオ、テープ、指導書がよい										不満足点 R:その他の内容	漢字配分、文化・習慣・伝統についての紹介が少ない																		

3. 教授者

3-1 この教科書を使っている教師は何人いますか。またその内訳は。

3-2 では、その教師の中で、日本語教育の専門研修を受けた人は何人いますか。

それはどんな研修ですか。

A: JICA の汎米研修 B: JICA の日本語教師研修 C: 国際交流基金の日本語教師研修 D: その他

3-3 先生たちの日本語教育経験はどのくらいですか。

国名 学校名	3-1						3-2				3-3 教育経験	
	全教師数	使用教師数	教師1世	教師2、3世	シニア	青年	研修歴	A	B	C		D
アルゼンティン ブルサコ日本語学園	9名	2名	1名	1名	0名	0名	1名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2年6ヶ月
							その他の内容					
コロンビア 加ルシア日系人協会付属日本語学校	6名	3名	3名	0名	1名	1名	6名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6年2ヶ月～31年
							(解読不能)					
ドミニカ (共) サント・ドミンゴ校	7名	3名	1名	1名	0名	1名	2名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2年～23年4ヶ月
							その他の内容					
ボリヴィア サンタ・クルス日本語普及校	4名	2名	2名	0名	0名	0名	1名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1年～10年
							その他の内容					
メキシコ グアタラハラ日墨文化学院	6名	6名	3名	1名	0名	1名	5名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6ヶ月～4年
							その他の内容					

新日本語の基礎

4. 教室活動

4-1よくする活動を選んでください。

本文や会話を

- A: 読み聞かせる B: 読ませる C: 訳させる D: 書かせる E: 覚えさせる F: 会話させる
G: 演じさせる H: その他

新しい文型を

- a: 読ませる b: 訳させる c: 話させる d: 書かせる e: 覚えさせる f: その他

新しいことばを

- あ: 読ませる い: 訳させる う: 話させる え: 書かせる お: 覚えさせる か: その他

新しい漢字を

- ア: 読ませる イ: 書かせる ウ: 覚えさせる エ: その他

絵・音楽・体の活動

- 1: 絵を書く 2: 歌を歌う 3: 踊る 4: 工作する 5: 紙芝居 6: ゲーム 7: スポーツ
8: 活動その他 9: しない

		4-1																																
国名	本文や会話								新しい文型						新しいことば			新しい漢字			絵・音楽・体の活動													
学校名	A	B	C	D	E	F	G	H	a	b	c	d	e	f	あ	い	う	え	お	か	アイ	ウ	エ	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
アルゼンティン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ブルサコ日本語学園	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容													
コロンビア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
加光ア日系人協会付属日本語学校	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容													
ドミニカ(共)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サント・ドミンゴ校	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容													
ボリヴィア	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サンタ・クルス日本語普及校	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容													
メキシコ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
グアダラハラ日墨文化学院	H:その他の内容								f:その他の内容						エ:その他の内容			9:その他			9:その他の内容													
	声を出して読ませる																	○			絵カードの使用													

4-2 どんな形態で活動しますか。

4-3 この教科書を使うとき、どんな補助教材・教具を使いますか。

A: テープ B: ビデオ C: 絵カード D: 文字カード E: ドリル帳 F: その他

4-4 スペイン語を使いますか。

国名 学校名	4-2					4-3						4-4
	一斉授業	グループ・ペア	個別授業	その他の形	複式授業	補助教材						スペイン語
						A	B	C	D	E	F	
アルゼンティン ブルサコ日本語学園	ときどき	いつも	ときどき		ときどき	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			ときどき使う
コロンビア コロンビア日系人協会 会付属日本語学校	いつも					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		よく使う
ドミニカ (共) サント・ドミンゴ校	いつも	いつも	しない		しない	<input type="checkbox"/>						ときどき使う
ボリビア サンタ・クルス 日本語普及校	いつも	しない	しない		ときどき							よく使う
メキシコ グアダラハラ日 墨文化学院	いつも	いつも	ときどき		しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			ときどき使う
						F:その他の内容						
						活動集						

新日本語の基礎

5. 教科書の選択と関連性

5-1 使う教科書はどうやって選ぶのですか。

A: 教師が選ぶ B: 担任が選ぶ C: 相談して選ぶ D: 学校が決める E: その他

5-2 この教科書が選ばれた理由は何ですか。

5-3 この教科書はこの学校でどのくらいの期間使われていますか。

5-4 この教科書が終わった生徒には、次にどんな教材を使いますか。

5-5 この教科書に入る前に生徒は、どんな教材を使って勉強しましたか。

国名 学校名	5-1					理由	期間	5-4		5-5
	A	B	C	D	E			次に進む教材名 著者・出版社	未 定	
アルゼンティン ブルサコ日本語 学園	<input checked="" type="radio"/>					その他の内容	3年			一二三、日本語ではなし ましょう 日本語普及センター (ブラジル)
コロンビア 加光ア日系人協 会付属日本語学 校			<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		漢字と仮名が混 じっている	2年6ヶ月		<input checked="" type="radio"/>	ひろこさんのたのしいに ほんご 凡人社
ドミニカ (共) サント・ドミン ゴ校	<input checked="" type="radio"/>					他に適当なもの がない	1年5ヶ月	新日本語の基礎 スリーエーネットワーク		にっぽんご オリジナル
ボリビア サンタ・クルス 日本語普及校		<input checked="" type="radio"/>				練習問題がよく できている 西 語訳がついてい る	1年		<input checked="" type="radio"/>	日本語初歩 国際交流基金
メキシコ グアタハラ日 墨文化学院			<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		補助教材が揃っ ている	2年	①現代日本語初級総合講 座 ②楽しく聞こう ①アルク ②文化外国語 専門学校		なし

新日本語の基礎